

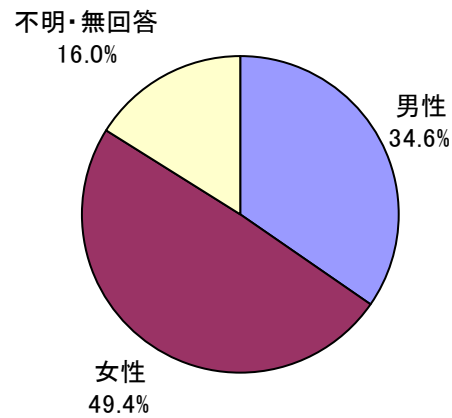
Ⅲ 調査結果

■ 回答者属性

■ 回答者の性別（単数回答）

回答者の性別についてみると、「男性」が34.6%、「女性」が49.4%となっています。

N=1,057



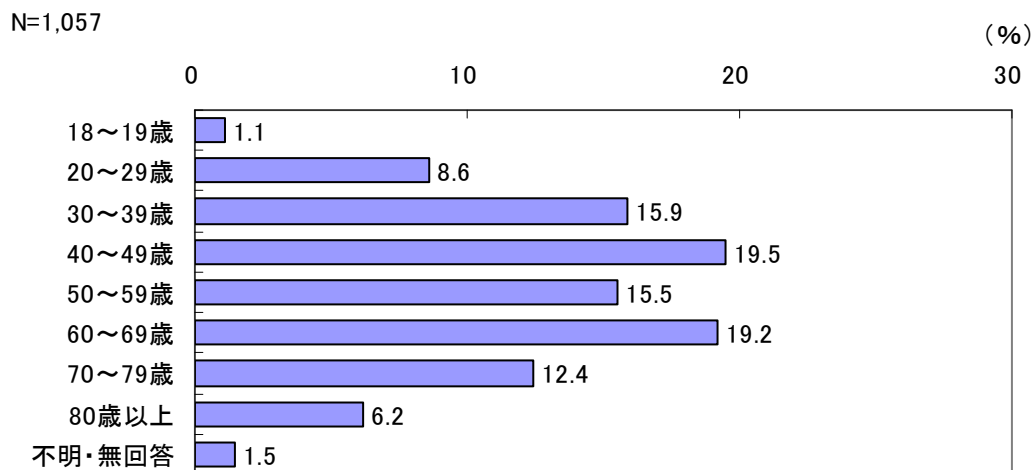
● 【参考】 調布市全体の男女別人数

性別	人数	割合
男性	109,870 人	49.4%
女性	112,317 人	50.6%
合計	222,187 人	100.0%

資料：調布市の人口（平成23年10月1日現在）

■回答者の年齢（単数回答）

回答者の年齢についてみると、「40～49歳」が19.5%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.2%、「30～39歳」が15.9%となっています。



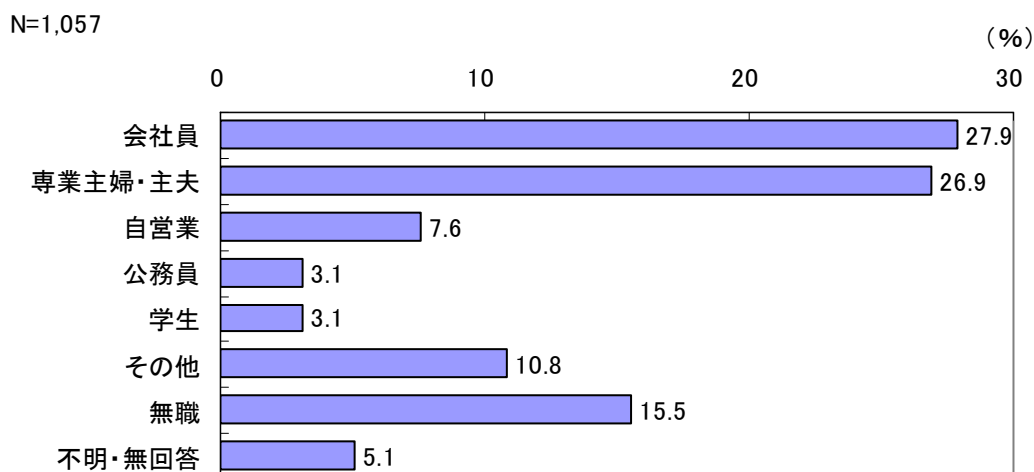
●【参考】調布市全体の年齢層別人数

年齢	人数	割合
0-9歳	18,914	8.5%
10-19歳	18,073	8.1%
20-29歳	29,241	13.2%
30-39歳	38,380	17.3%
40-49歳	36,197	16.3%
50-59歳	24,351	11.0%
60-69歳	25,907	11.7%
70-79歳	19,781	8.9%
80-89歳	9,594	4.3%
90-99歳	1,696	0.8%
100歳以上	53	0.0%
合計	222,187	100.0%

資料：調布市の人口（平成23年10月1日現在）

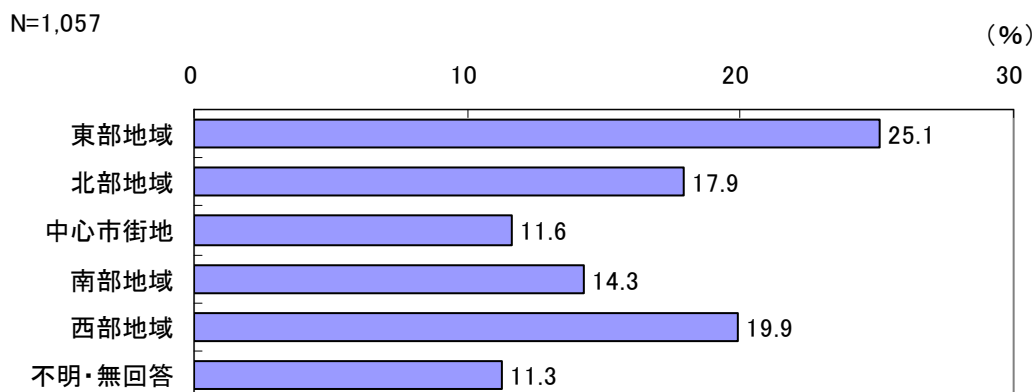
■回答者の職業（単数回答）

回答者の職業についてみると、「会社員」が27.9%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」が26.9%、「無職」が15.5%となっています。



■回答者の住まい（単数回答）

回答者の住まいについてみると、「東部地域」が25.1%と最も高く、次いで「西部地域」が19.9%、「北部地域」が17.9%となっています。



●【参考】調布市全体の地区別人数

地区	人数	割合
東部地域	54,535	24.5%
北部地域	47,193	21.2%
中心市街地	34,990	15.7%
南部地域	45,171	20.3%
西部地域	40,298	18.1%
合計	222,187	100.0%

資料：調布市の人口（平成23年10月1日現在）

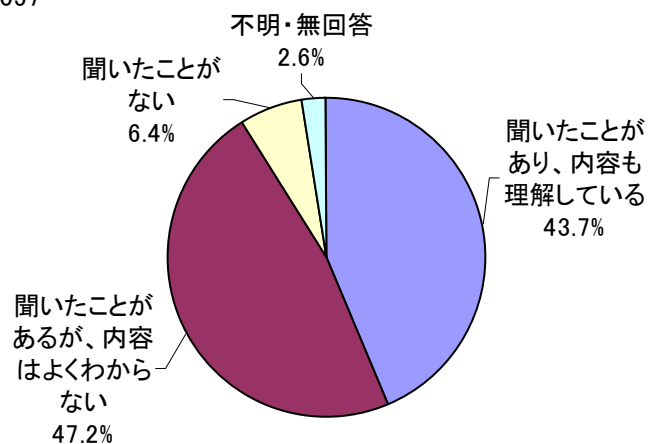
1 生涯学習の現状など

(問1) あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(単数回答)

「生涯学習」という言葉についてみると、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が47.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあります、内容も理解している」が43.7%、合わせて『聞いたことがある』が90.9%と、聞いたことのある割合が【平成20年・内閣府調査】に比べて約10ポイント上回っています。

また、「聞いたことがない」が6.4%となっています。

N=1,057



●【参考】【平成20年・内閣府調査】

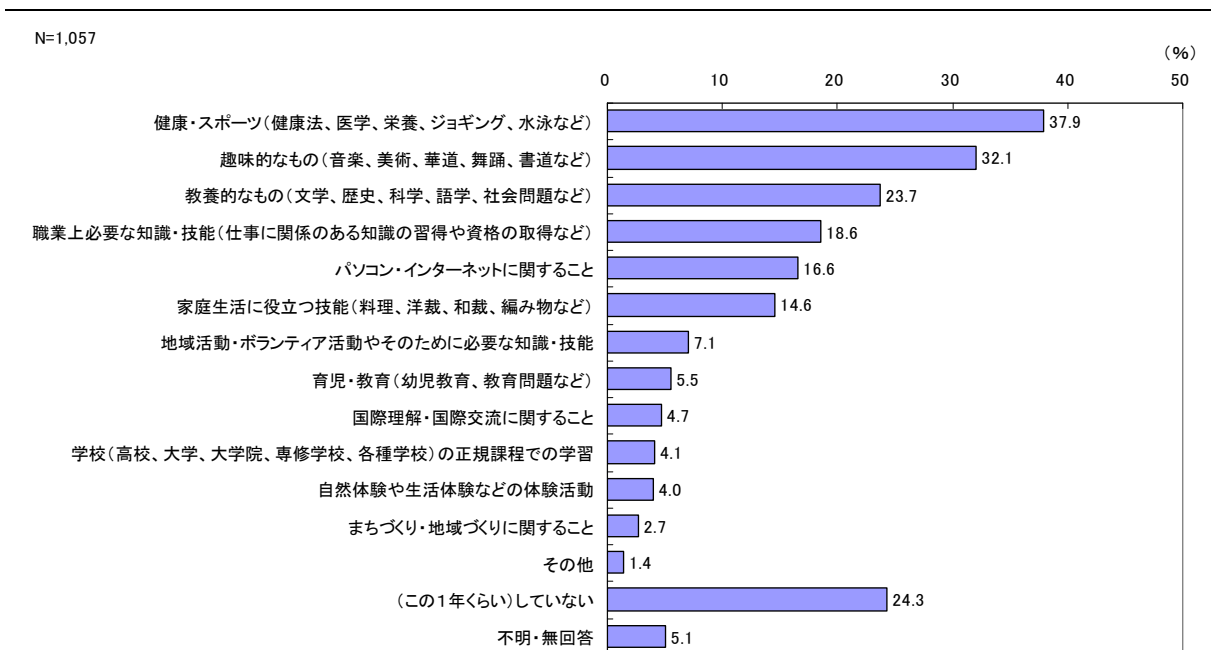
あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(単数回答)

聞いたことがある	80.5%
聞いたことがない	19.5%

（問2）「生涯学習」とは、人が生涯にわたり、自らの意志で自発的に行う学習活動のことです。あなたは、この1年くらいの間に、次に示す「生涯学習」をしたことがありますか。（複数回答）

「生涯学習」の経験についてみると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が37.9%と最も多く、次いで「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が32.1%、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）」が23.7%となっています。

【平成20年・内閣府調査】との比較では、「（この1年くらい）していない」が27.1ポイント低くなっています。



●【参考】【平成20年・内閣府調査】

あなたは、この1年くらいの間に、「生涯学習」をしたことがありますか。（複数回答）

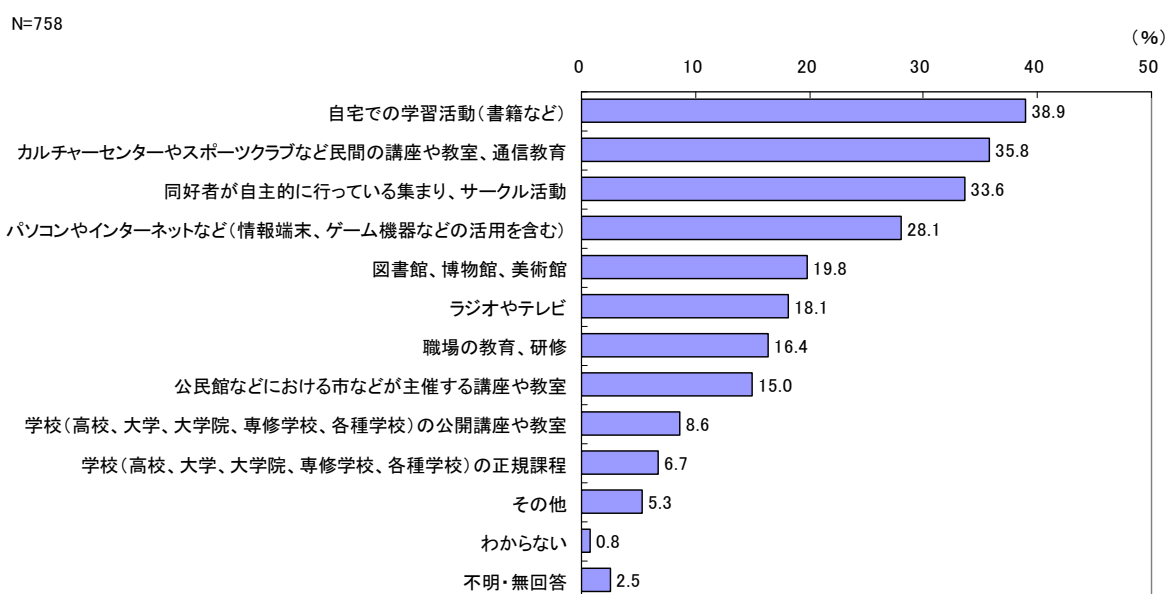
健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	22.5%
趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）	19.8%
パソコン・インターネットに関すること	14.0%
教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）	10.2%
職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）	9.3%
家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	8.4%
ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	6.9%
育児・教育（幼児教育、教育問題など）	4.7%
自然体験や生活体験などの体験活動	4.0%
学校（高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習	1.6%
その他	0.6%
（この1年くらい）していない	51.4%
わからない	1.4%

【問2で1～13と回答した方のみ】

(問3) あなたは、どのような場所や形態で「生涯学習」をしたことがありますか。
(複数回答)

「生涯学習」をした場所や形態についてみると、「自宅での学習活動(書籍など)」が38.9%と最も高く、次いで「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育」が35.8%、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が33.6%となっています。

【平成20年・内閣府調査】との比較では、「自宅での学習活動(書籍など)」9.6ポイント高くなっています。



●【参考】【平成20年・内閣府調査】

あなたは、どのような場所や形態で「生涯学習」をしたことがありますか。(複数回答)

公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室	33.1%
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育	29.3%
自宅での学習活動(書籍など)	29.3%
同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	26.8%
職場の教育、研修	22.6%
パソコンやインターネットなど(情報端末、ゲーム機器などの活用を含む)	21.3%
図書館、博物館、美術館	14.5%
ラジオやテレビ	10.4%
学校(高等・専修・各種学校、大学、大学院など)の公開講座や教室	9.7%
学校(高等・専修・各種学校、大学、大学院など)の正規課程	3.7%
その他	4.3%
わからない	0.6%

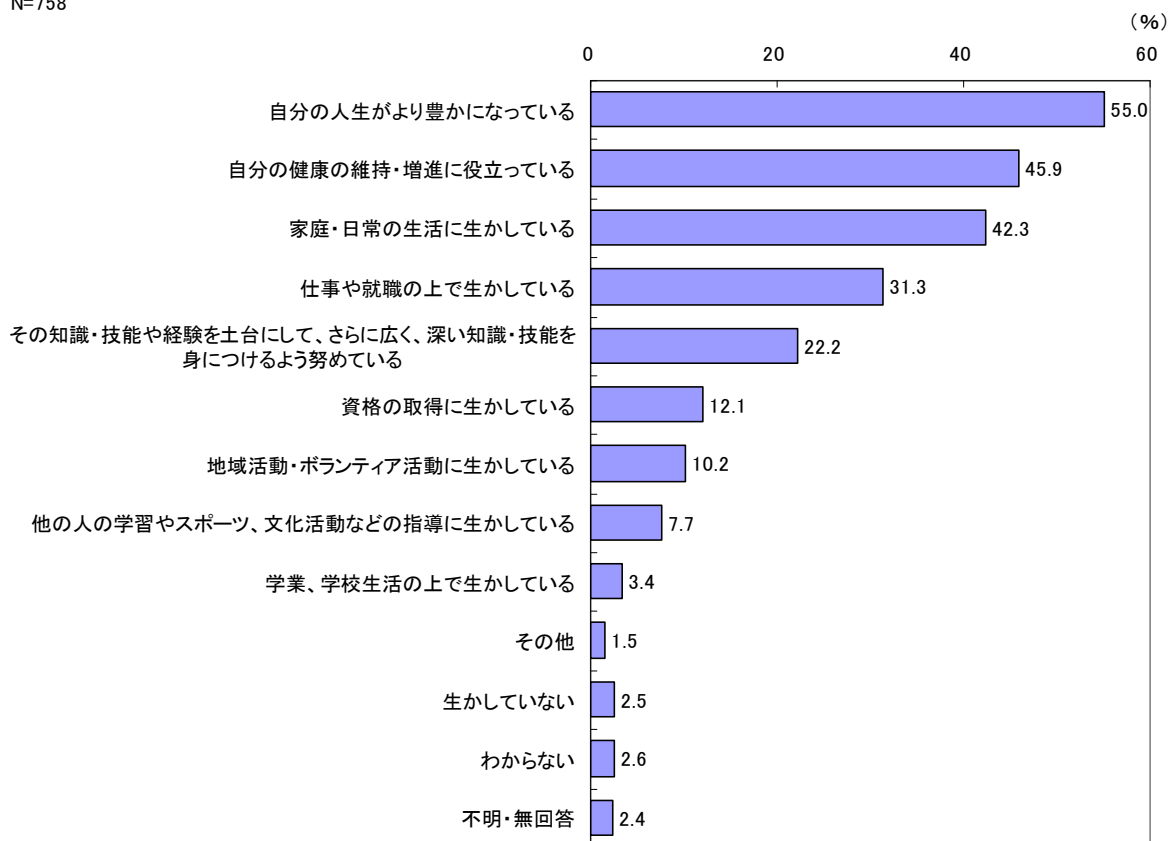
【問2で1～13と回答した方のみ】

(問4) あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのよう
に生かしていますか。(複数回答)

「生涯学習」の生かし方についてみると、「自分の人生がより豊かになっている」が55.0%と最も高く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」が45.9%、「家庭・日常生活に生かしている」が42.3%となっています。

【平成20年・内閣府調査】との比較では、上位4項目の順位に違いは見られませんが、「自分の人生がより豊かになっている」の割合が11.2ポイント高くなっています。

N=758



●【参考】【平成 20 年・内閣府調査】

あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。（複数回答）

自分の人生がより豊かになっている	43.8%
自分の健康の維持・増進に役立っている	41.6%
家庭・日常の生活に生かしている	37.5%
仕事や就職の上で生かしている	33.6%
地域や社会での活動に生かしている	17.2%
その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている	16.1%
ボランティア活動に生かしている	13.8%
資格を取得した	13.0%
他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている	11.4%
学業、学校生活の上で生かしている	2.8%
その他	1.3%
生かしていない	7.4%
わからない	0.7%

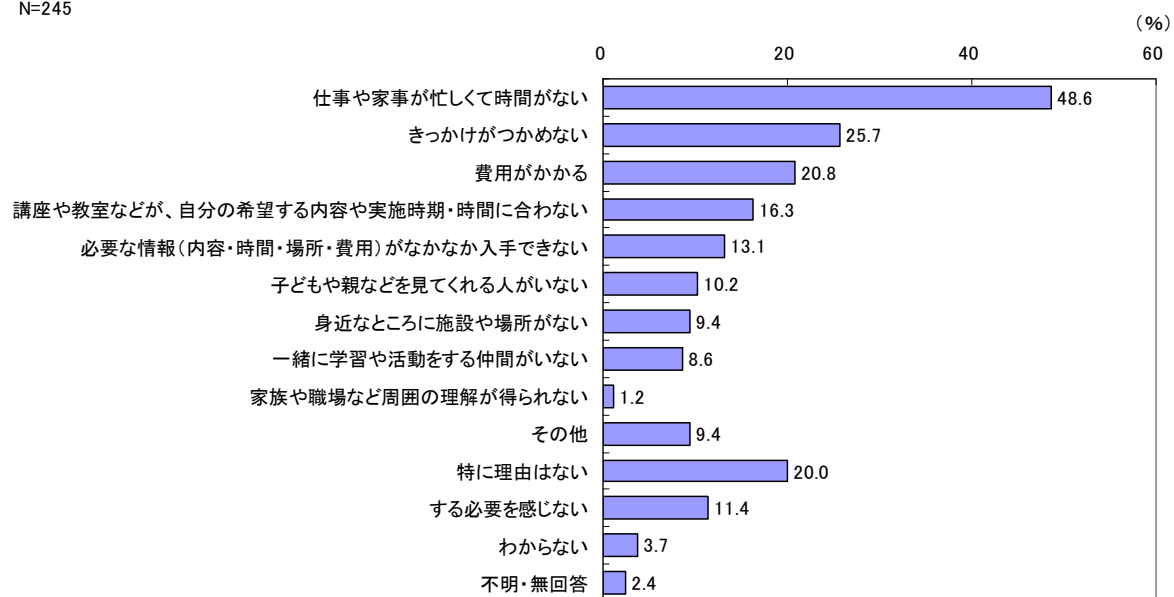
【問2で14と回答した方のみ】

(問5) この1年くらい「生涯学習」をしていない理由は何ですか。(複数回答)

この1年くらい「生涯学習」をしていない理由についてみると、「仕事や家事が忙しくて時間がない」が48.6%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が25.7%、「費用がかかる」が20.8%となっています。

【平成20年・内閣府調査】との比較では、「費用がかかる」の割合が11.8ポイント、「きっかけがつかめない」の割合が9.3ポイントそれぞれ高くなっています。

N=245



■問5（この1年くらい「生涯学習」をしていない理由）×性別・年齢別・職業別・地域別

	N	仕事や家事が忙しくて時間がない	子どもや親などを見てくれる人がいない	費用がかかる	必要な情報（内容・時間・場所・費用）がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がいない	身近なところに施設や場所がない	講座や教室などが、自分の希望する内容や実施時期・時間に合わない	家族や職場など周囲の理解が得られない	きっかけがつかめない	する必要を感じない	特に理由はない	その他	わからない	不明・無回答
男性	90	45.6	2.2	20.0	14.4	7.8	7.8	7.8	1.1	25.6	17.8	25.6	7.8	5.6	4.4
女性	120	54.2	17.5	26.7	11.7	10.8	10.8	25.0	1.7	26.7	7.5	15.8	10.0	2.5	-
18～19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0
20～29歳	19	36.8	-	36.8	15.8	21.1	10.5	31.6	-	47.4	21.1	10.5	5.3	5.3	-
30～39歳	57	66.7	28.1	35.1	8.8	1.8	15.8	21.1	-	26.3	3.5	12.3	5.3	1.8	1.8
40～49歳	47	53.2	10.6	14.9	12.8	6.4	8.5	19.1	4.3	25.5	8.5	27.7	8.5	-	-
50～59歳	38	50.0	2.6	21.1	23.7	7.9	2.6	18.4	-	23.7	7.9	18.4	10.5	7.9	2.6
60～69歳	44	50.0	4.5	13.6	18.2	13.6	11.4	9.1	-	29.5	18.2	22.7	6.8	2.3	-
70～79歳	21	28.6	-	9.5	4.8	9.5	9.5	4.8	4.8	19.0	14.3	28.6	19.0	4.8	9.5
80歳以上	16	6.3	-	6.3	-	12.5	-	6.3	-	6.3	25.0	18.8	25.0	12.5	6.3
会社員	80	65.0	2.5	22.5	16.3	6.3	7.5	17.5	1.3	27.5	8.8	22.5	2.5	2.5	1.3
自営業	18	50.0	-	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	-	22.2	16.7	16.7	5.6	16.7	5.6
公務員	4	100.0	25.0	-	50.0	25.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0	-	-
専業主婦・主夫	71	40.8	29.6	21.1	12.7	5.6	8.5	22.5	2.8	26.8	7.0	14.1	11.3	1.4	-
学生	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
その他	23	78.3	4.3	39.1	13.0	13.0	26.1	26.1	-	26.1	8.7	17.4	8.7	-	-
無職	36	5.6	-	8.3	8.3	11.1	5.6	2.8	-	25.0	27.8	30.6	25.0	5.6	5.6
東部地域	66	40.9	18.2	22.7	16.7	12.1	15.2	13.6	1.5	30.3	12.1	12.1	4.5	3.0	4.5
北部地域	49	40.8	6.1	16.3	2.0	4.1	8.2	12.2	2.0	22.4	14.3	20.4	10.2	8.2	6.1
中心市街地	19	63.2	5.3	26.3	21.1	5.3	-	21.1	5.3	21.1	5.3	10.5	10.5	5.3	-
南部地域	37	59.5	5.4	16.2	10.8	10.8	10.8	24.3	-	18.9	10.8	29.7	13.5	2.7	-
西部地域	49	57.1	8.2	22.4	14.3	8.2	8.2	18.4	-	28.6	12.2	24.5	12.2	2.0	-

●【参考】【平成20年・内閣府調査】

あなたが、この1年くらい「生涯学習」を行っていない理由はなんですか。（複数回答）

仕事や家事が忙しくて時間がない	45.4%
家事が忙しくて時間がない	18.9%
きっかけがつかめない	16.4%
費用がかかる	9.0%
子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	8.0%
そういうことは好きではなく、めんどろである	7.3%
身近なところに施設や場所がない	6.3%
必要な情報（内容・時間・場所・費用）がなかなか入手できない	5.7%
講座や教室などが、自分の希望や実施時期・時間に合わない	5.6%
一緒に学習や活動をする仲間がいない	4.8%
家族や職場など周囲の理解が得られない	0.6%
その他	12.2%
特に理由はない	11.6%
特に必要はない	5.9%
わからない	1.1%

【全ての方】

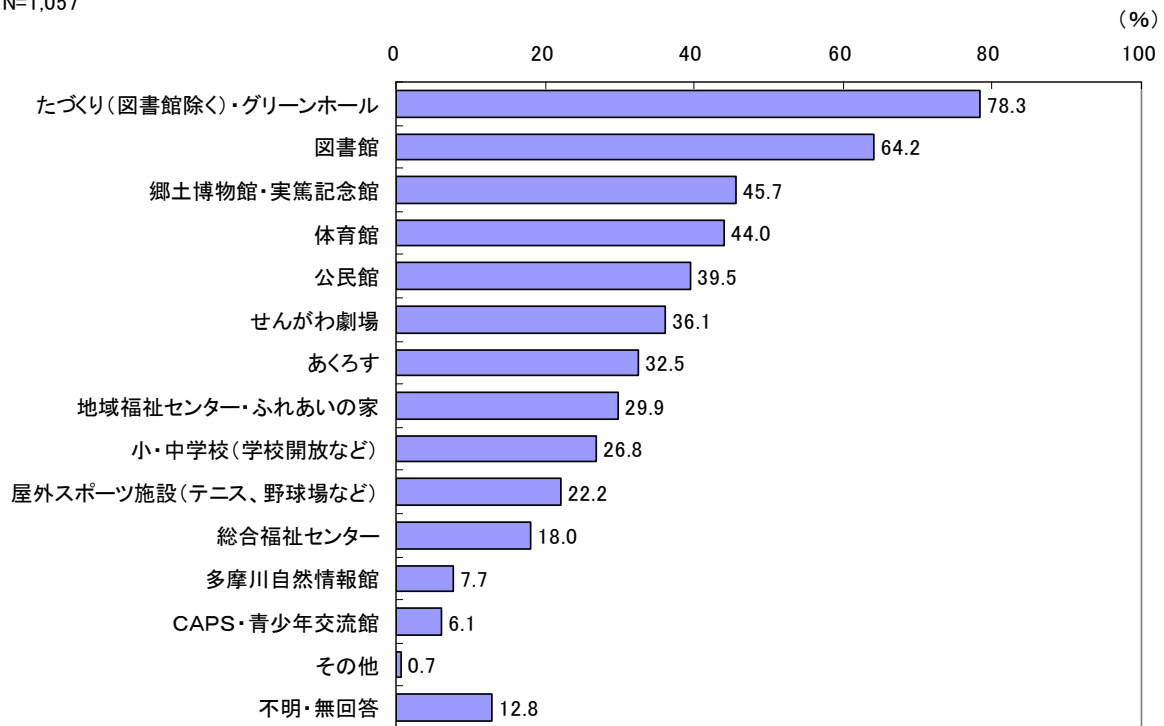
(問6) 市の生涯学習関連施設の中で知っているもの、よく利用するものはどれですか。(複数回答)

市の生涯学習関連施設の中で知っているものについてみると、「たづくり(図書館除く)・グリーンホール」が78.3%と最も高く、次いで「図書館」が64.2%、「郷土博物館・実篤記念館」が45.7%となっています。

市の生涯学習関連施設の中でよく利用するものについてみると、「図書館」が30.7%と最も高く、次いで「たづくり(図書館除く)・グリーンホール」が21.9%、「地域福祉センター・ふれあいの家」が5.9%となっています。

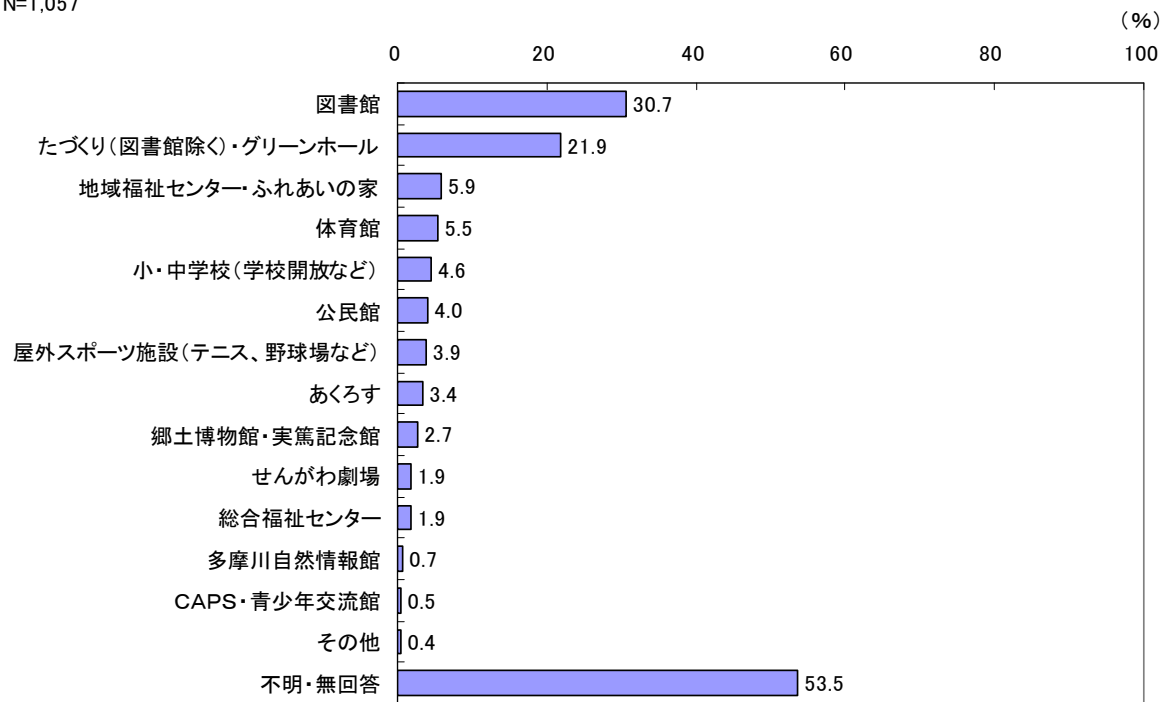
■知っている

N=1,057



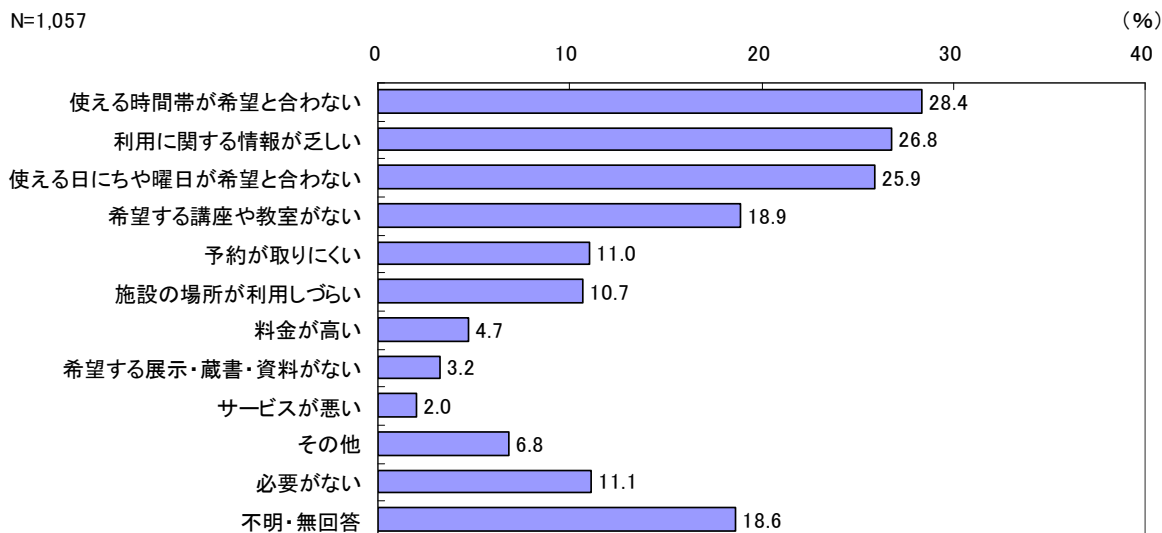
■よく利用する

N=1,057



(問7) 市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点は何ですか。(複数回答)

市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点についてみると、「使える時間帯が希望と合わない」が28.4%と最も高く、次いで「利用に関する情報が乏しい」が26.8%、「使える日にちや曜日が希望と合わない」が25.9%となっています。



■問7 (利用上の問題点) × 性別・年齢別・職業別・地域別

	N	使える時間帯が希望と合わない	使える日にちや曜日が希望と合わない	予約が取りにくい	利用に関する情報が乏しい	施設の場所が利用しづらい	料金が低い	サービスが悪い	希望する講座や教室がない	希望する展示・蔵書・資料がない	必要がない	その他	不明・無回答
男性	366	22.7	21.0	12.6	27.3	7.7	4.1	3.0	17.8	4.9	16.1	6.6	17.5
女性	522	33.5	29.7	10.7	27.2	13.4	5.4	1.1	19.9	2.3	7.1	6.3	18.2
18～19歳	12	-	8.3	8.3	33.3	16.7	-	-	8.3	8.3	33.3	8.3	8.3
20～29歳	91	29.7	25.3	6.6	41.8	18.7	4.4	-	15.4	4.4	18.7	6.6	5.5
30～39歳	168	30.4	29.8	12.5	33.3	11.9	4.8	4.2	23.8	5.4	8.9	10.1	8.9
40～49歳	206	37.4	33.0	11.2	29.6	12.6	6.8	1.5	21.4	2.4	6.8	5.3	13.1
50～59歳	164	35.4	36.0	17.1	32.9	10.4	6.1	3.0	19.5	4.3	9.8	4.9	15.9
60～69歳	203	27.6	23.2	8.9	20.2	10.3	3.9	1.5	23.2	2.5	9.9	7.4	18.7
70～79歳	131	17.6	14.5	11.5	15.3	5.3	2.3	1.5	10.7	2.3	12.2	6.9	36.6
80歳以上	66	9.1	6.1	4.5	7.6	4.5	1.5	-	9.1	-	19.7	6.1	47.0
会社員	295	36.9	34.2	10.5	33.2	11.9	4.4	3.1	18.0	3.4	13.2	5.4	8.8
自営業	80	30.0	27.5	17.5	37.5	10.0	6.3	5.0	25.0	1.3	12.5	2.5	13.8
公務員	33	30.3	30.3	6.1	24.2	12.1	3.0	-	27.3	6.1	3.0	9.1	15.2
専業主婦・主夫	284	27.8	24.6	10.9	23.9	11.6	4.2	1.1	19.4	2.8	5.6	9.5	22.5
学生	33	12.1	15.2	6.1	30.3	9.1	3.0	-	15.2	9.1	27.3	15.2	3.0
その他	114	38.6	33.3	12.3	28.9	16.7	7.0	0.9	26.3	4.4	6.1	2.6	15.8
無職	164	11.0	10.4	11.0	15.2	5.5	3.7	1.2	14.0	2.4	16.5	6.7	35.4
東部地域	265	24.9	22.6	11.3	26.8	12.5	3.8	1.5	19.2	2.6	14.3	6.0	16.6
北部地域	189	30.2	24.9	10.6	23.8	6.9	3.7	3.2	22.2	2.1	11.6	10.1	15.3
中心市街地	123	28.5	27.6	11.4	23.6	10.6	2.4	1.6	12.2	2.4	11.4	6.5	22.0
南部地域	151	25.8	23.8	15.2	36.4	9.3	7.3	3.3	20.5	6.0	11.3	6.6	15.2
西部地域	210	35.2	31.4	9.0	26.7	14.8	5.2	1.4	19.5	2.9	7.6	5.2	20.5

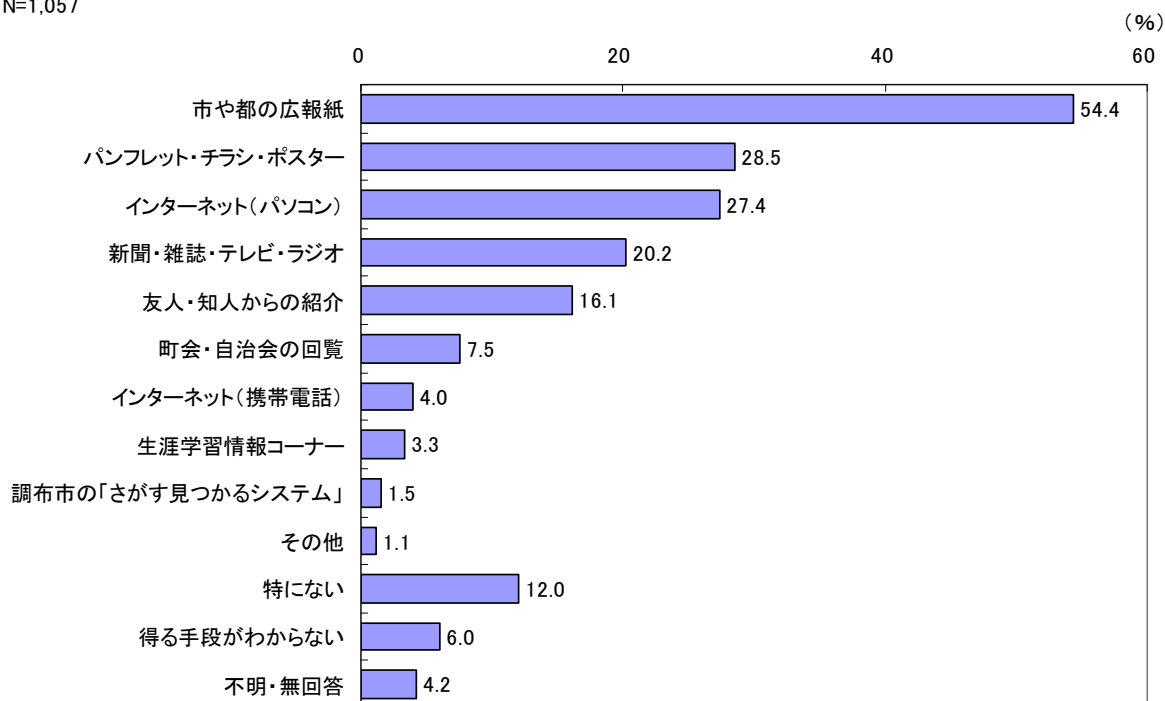
(問8) あなたは「生涯学習」に関する情報を、どのように得ていますか。

(複数回答)

「生涯学習」に関する情報の入手法についてみると、「市や都の広報紙」が 54.4%と最も高く、次いで「パンフレット・チラシ・ポスター」が 28.5%、「インターネット(パソコン)」が 27.4%となっています。

【平成 20 年・内閣府調査】との比較では、「友人・知人からの紹介」(比較対象:「家族や友人、知人からの口伝え」)の割合が 23.6 ポイント低くなっています。

N=1,057



●【参考】【平成 20 年・内閣府調査】

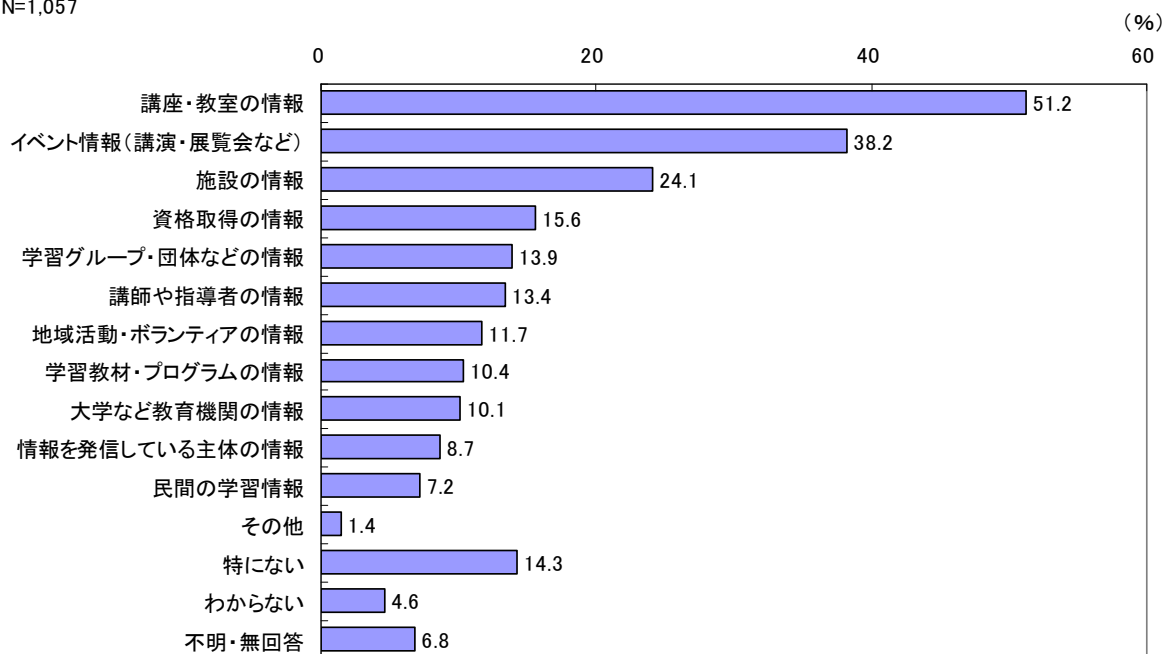
あなたは、「生涯学習」に関する情報をどのように得ていますか。(複数回答)

家族や友人、知人からの口伝え	39.7%
新聞、雑誌	36.3%
インターネット(情報端末など)	28.4%
ラジオやテレビ	25.7%
自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡	23.6%
学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレットなども含む)	23.2%
情報専門紙(誌)	17.8%
サークル・グループ、クラブ、同好会	17.3%
公共施設に設置された窓口	15.0%
チラシ、ポスター	12.8%
その他	1.7%
特に得ていない	4.5%
わからない	0.5%

(問9) あなたはどのような「生涯学習」に関する情報を望みますか。(複数回答)

望まれる「生涯学習」情報についてみると、「講座・教室の情報」が51.2%と最も高く、次いで「イベント情報(講演・展覧会など)」が38.2%、「施設の情報」が24.1%となっています。

N=1,057



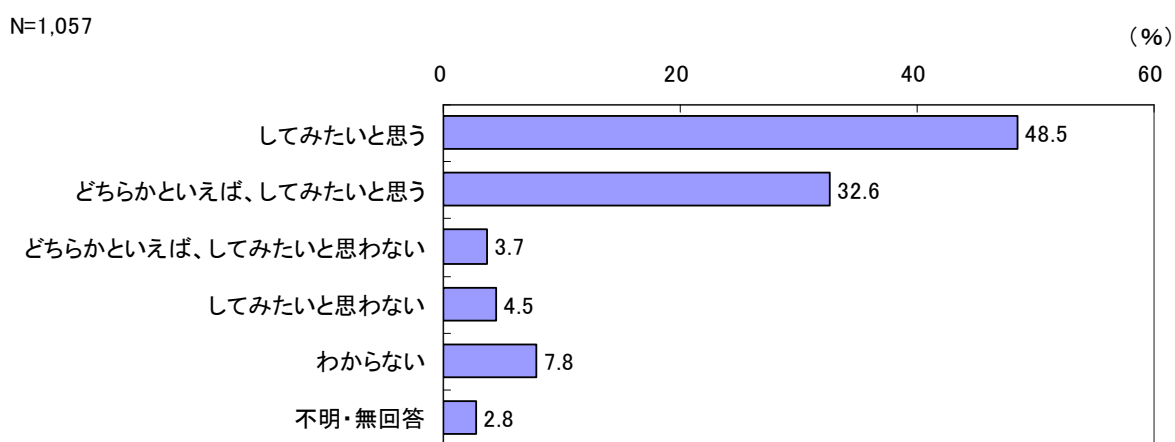
2 生涯学習に対する今後の意向

(問 10) あなたは、今後、「生涯学習」をしてみたいと思いますか。(単数回答)

今後、「生涯学習」をしてみたいと思うかについてみると、「してみたいと思う」が 48.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば、してみたいと思う」が 32.6%、「わからない」が 7.8%となっています。

「してみたいと思う」「どちらかといえば、してみたいと思う」を合わせた『してみたいと思う』が 81.1%、「どちらかといえば、してみたいと思わない」「してみたいと思わない」を合わせた『してみたいとは思わない』が 8.2%となっています。

【内閣府調査】との比較では、『してみたいと思う』が 17.2 ポイント高くなっています。



●【参考】【平成 20 年・内閣府調査】

あなたは、今後、「生涯学習」をしてみたいと思いますか。(単数回答)

してみたいと思う	63.9%
してみたいとは思わない	26.6%

■問 10 (「生涯学習」をしてみたいと思うか) ×性別・年齢別・職業別・地域別

	N	う し て み た い と 思 う	と ぼ ど ち ら か と 思 う	と ぼ ど ち ら か と 思 わ な い	と ぼ ど ち ら か と 思 わ な い	わ し て み た い と 思 わ な い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
男性	366	47.0	29.5	5.2	6.0	10.4	1.9	
女性	522	52.3	34.7	3.1	1.7	5.9	2.3	
18～19歳	12	33.3	50.0	-	8.3	8.3	-	
20～29歳	91	45.1	38.5	5.5	1.1	9.9	-	
30～39歳	168	54.2	38.7	1.8	1.8	3.6	-	
40～49歳	206	52.4	36.9	2.4	1.5	5.8	1.0	
50～59歳	164	57.3	32.9	1.8	1.2	4.9	1.8	
60～69歳	203	51.7	25.1	5.9	5.9	8.9	2.5	
70～79歳	131	34.4	29.8	5.3	13.0	10.7	6.9	
80歳以上	66	24.2	25.8	6.1	9.1	21.2	13.6	
会社員	295	54.6	33.2	2.0	3.4	5.8	1.0	
自営業	80	46.3	30.0	8.8	6.3	7.5	1.3	
公務員	33	57.6	33.3	-	3.0	3.0	3.0	
専業主婦・ 主夫	284	49.3	36.3	3.5	3.5	5.3	2.1	
学生	33	36.4	42.4	6.1	6.1	9.1	-	
その他	114	57.0	31.6	1.8	1.8	7.0	0.9	
無職	164	36.6	25.0	5.5	8.5	16.5	7.9	
東部地域	265	49.4	30.9	3.4	3.0	10.2	3.0	
北部地域	189	51.3	31.2	5.3	3.7	6.9	1.6	
中心市街地	123	53.7	29.3	2.4	8.1	4.1	2.4	
南部地域	151	46.4	36.4	3.3	4.0	7.3	2.6	
西部地域	210	49.0	31.4	3.3	4.8	8.1	3.3	

(問 11) あなたは、今後、どのような「生涯学習」の機会が増えればよいと思いますか。(複数回答)

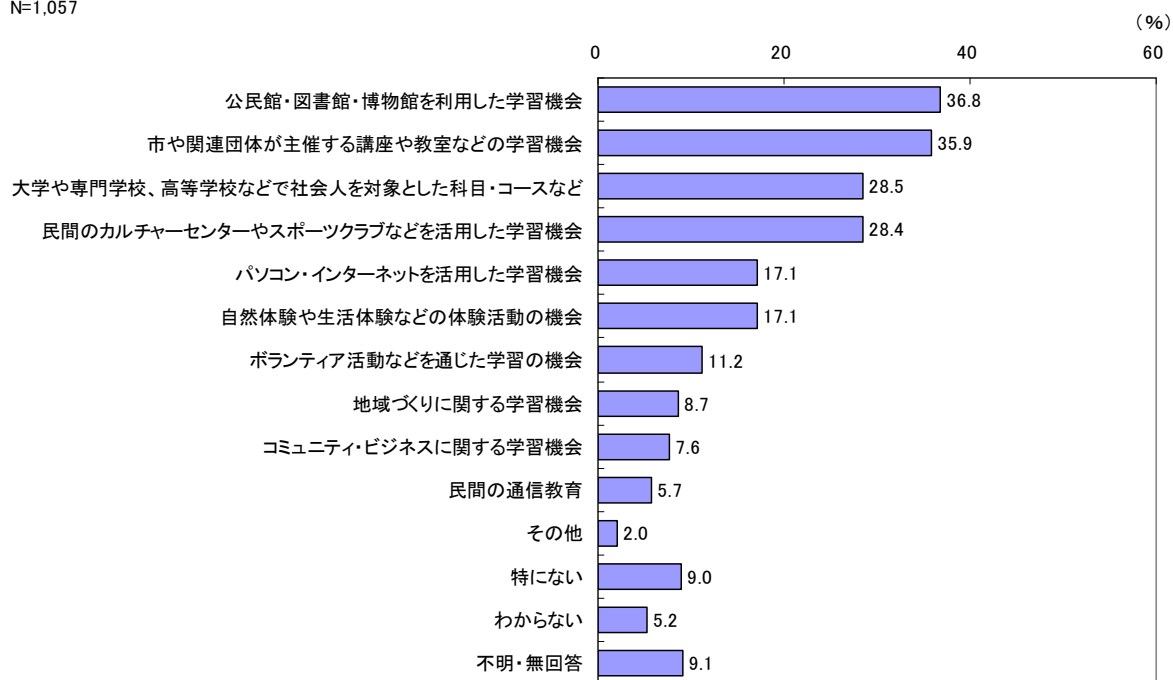
増えて欲しい「生涯学習」機会についてみると、「公民館・図書館・博物館を利用した学習機会」が36.8%と最も高く、次いで「市や関連団体が主催する講座や教室などの学習機会」が35.9%、「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」が28.5%となっています。

年齢別でみると、【18～19 歳】で「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」の割合が高くなっています。また、【20～29 歳】で「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」の割合が高くなっています。

職業別でみると、【学生】で「コミュニティ・ビジネスに関する学習機会」の割合が高くなっています。

【内閣府調査】との比較では、「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」で17.4ポイント高くなっています。

N=1,057



■ 問11 (どのような「生涯学習」の機会が増えればよいか) × 性別・年齢別・職業別・地域別

	N	公民館・図書館・博物館を利用した学習機会	市や関連団体が主催する講座や教室などの学習機会	大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど	民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどを活用した学習機会	民間の通信教育	パソコン・インターネットを活用した学習機会	ボランティア活動などを通じた学習の機会	自然体験や生活体験などの体験活動の機会	地域づくりに関する学習機会	コミュニティ・ビジネスに関する学習機会	特にない	その他	わからない	不明・無回答
男性	366	34.4	29.0	31.4	25.1	4.1	21.3	10.7	18.3	12.0	10.4	13.4	1.4	4.1	9.3
女性	522	40.6	45.0	29.1	33.9	7.5	14.4	13.4	17.2	6.9	6.7	4.2	2.3	5.4	6.9
18～19歳	12	33.3	-	33.3	16.7	-	25.0	16.7	41.7	16.7	16.7	8.3	-	8.3	8.3
20～29歳	91	34.1	27.5	39.6	31.9	8.8	22.0	13.2	14.3	4.4	13.2	7.7	2.2	6.6	1.1
30～39歳	168	38.7	38.1	34.5	42.3	8.9	18.5	7.7	24.4	4.8	12.5	7.7	1.2	3.0	1.8
40～49歳	206	38.3	43.7	38.3	38.3	9.2	22.3	16.0	18.9	13.6	9.7	5.3	1.9	4.9	2.9
50～59歳	164	44.5	40.9	32.3	36.0	3.0	18.3	12.8	20.1	10.4	9.8	5.5	1.2	2.4	7.3
60～69歳	203	35.5	38.4	25.6	19.7	3.4	15.3	12.8	13.8	7.9	2.5	9.4	3.0	4.4	12.8
70～79歳	131	34.4	30.5	12.2	13.0	0.8	10.7	6.9	12.2	8.4	2.3	17.6	2.3	6.9	17.6
80歳以上	66	21.2	13.6	3.0	3.0	4.5	6.1	1.5	6.1	7.6	1.5	16.7	1.5	16.7	27.3
会社員	295	34.9	35.9	39.3	34.6	7.8	23.7	12.5	22.4	9.5	12.9	7.8	2.0	2.7	5.1
自営業	80	33.8	33.8	27.5	23.8	2.5	18.8	12.5	18.8	13.8	11.3	10.0	1.3	2.5	12.5
公務員	33	30.3	39.4	33.3	39.4	6.1	18.2	24.2	36.4	9.1	3.0	-	-	3.0	6.1
専業主婦・主夫	284	43.7	42.6	20.8	31.0	5.6	11.6	10.2	15.5	7.7	3.2	5.3	3.2	6.7	6.3
学生	33	36.4	12.1	36.4	27.3	3.0	21.2	18.2	18.2	18.2	24.2	12.1	-	6.1	3.0
その他	114	38.6	43.0	39.5	36.0	8.8	20.2	16.7	16.7	8.8	5.3	5.3	0.9	2.6	8.8
無職	164	33.5	27.4	18.9	14.0	2.4	13.4	4.9	8.5	6.1	3.7	17.1	0.6	9.8	17.7
東部地域	265	36.2	34.3	27.2	28.7	3.8	14.7	11.3	19.2	10.2	7.9	9.4	1.5	5.7	7.9
北部地域	189	38.6	38.6	29.1	30.7	7.4	17.5	9.0	15.3	9.0	5.3	8.5	3.7	5.3	8.5
中心市街地	123	33.3	31.7	35.8	30.9	8.1	17.9	10.6	16.3	8.1	9.8	9.8	0.8	2.4	8.9
南部地域	151	42.4	41.7	37.1	29.8	4.0	20.5	14.6	14.6	4.6	9.3	9.3	0.7	2.6	6.0
西部地域	210	34.8	35.7	24.8	28.1	6.7	18.6	12.9	18.1	9.0	7.6	8.1	2.4	6.2	10.0

●【参考】【平成20年・内閣府調査】

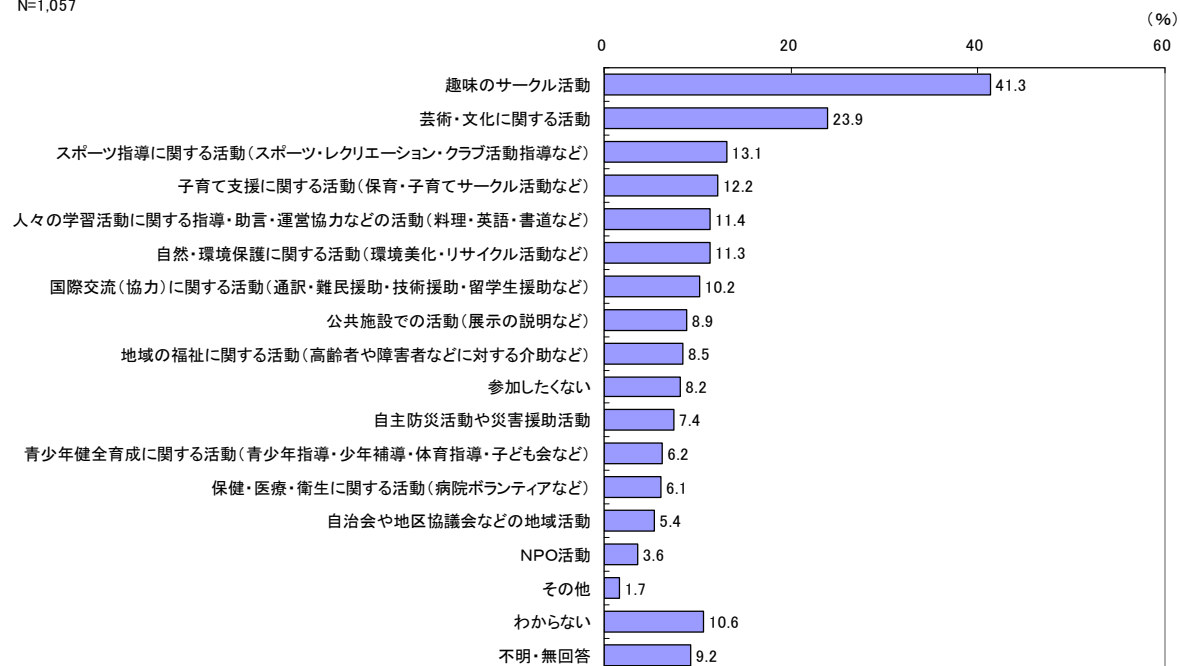
あなたは、どのような「生涯学習」の機会が増えればよいと思いますか。(複数回答)

公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室	40.6%
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室	22.1%
パソコン、インターネットを活用した学習機会	20.4%
自然体験や生活体験などの体験活動の機会	17.4%
ボランティア活動の機会	14.3%
図書館の図書や情報	12.7%
博物館や美術館などの講座や教室	11.5%
大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど	11.1%
職場での教育・研修	11.1%
民間の通信教育	5.1%
その他	0.9%
特にない	21.0%
わからない	2.9%

(問 12) あなたは、今後、どのような「地域活動」や「ボランティア活動」に参加してみたいと思いますか。(複数回答)

参加してみたい「地域活動」や「ボランティア活動」についてみると、「趣味のサークル活動」が41.3%と最も高く、次いで「芸術・文化に関する活動」が23.9%、「スポーツ指導に関する活動(スポーツ・レクリエーション・クラブ活動指導など)」が13.1%となっています。

N=1,057



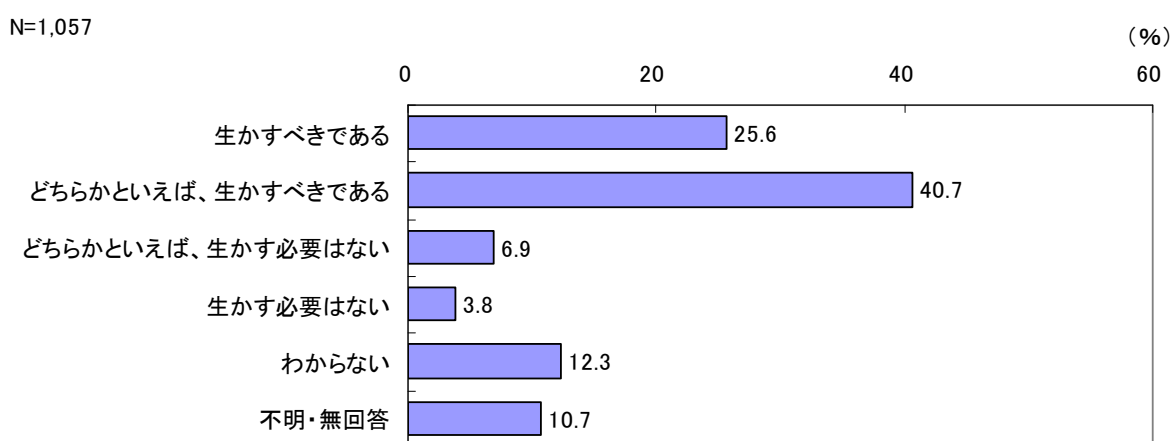
3 生涯学習の成果

(問 13) あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきだと思いますか。(単数回答)

「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきかについてみると、「どちらかといえば、生かすべきである」が 40.7%と最も高く、次いで「生かすべきである」が 25.6%、「わからない」が 12.3%となっています。

「生かすべきである」「どちらかといえば、生かすべきである」を合わせた『生かすべき』は 66.3%となっています。

【内閣府調査】との比較では、『生かすべき』とする割合が 17.9 ポイント低くなっています。



■問 13 (学んだことを生かすべきか) × 性別・年齢別・職業別・地域別

	N	生かすべきである	どちらかといえば生かすべきである	どちらかといえば生かす必要はない	生かす必要はない	わからない	不明・無回答
男性	366	32.0	36.1	7.1	3.8	11.2	9.8
女性	522	22.0	46.2	7.5	4.0	11.7	8.6
18～19歳	12	33.3	33.3	-	-	25.0	8.3
20～29歳	91	24.2	45.1	9.9	8.8	9.9	2.2
30～39歳	168	26.8	48.2	6.5	3.6	11.9	3.0
40～49歳	206	27.2	48.5	5.3	2.4	13.1	3.4
50～59歳	164	25.6	45.7	7.3	2.4	11.6	7.3
60～69歳	203	29.1	34.0	8.4	2.0	9.9	16.7
70～79歳	131	21.4	37.4	6.9	4.6	12.2	17.6
80歳以上	66	15.2	13.6	6.1	9.1	21.2	34.8
会社員	295	28.8	41.7	7.1	3.4	13.2	5.8
自営業	80	40.0	27.5	5.0	2.5	13.8	11.3
公務員	33	39.4	39.4	3.0	3.0	9.1	6.1
専業主婦・主夫	284	19.4	48.6	6.7	4.2	10.6	10.6
学生	33	30.3	42.4	9.1	6.1	9.1	3.0
その他	114	28.9	47.4	4.4	4.4	10.5	4.4
無職	164	18.3	31.1	9.1	3.7	15.2	22.6
東部地域	265	27.2	36.2	6.8	5.3	17.0	7.5
北部地域	189	21.2	43.9	7.4	4.2	12.2	11.1
中心市街地	123	29.3	43.1	5.7	2.4	12.2	7.3
南部地域	151	28.5	42.4	11.3	3.3	7.9	6.6
西部地域	210	24.8	43.8	6.2	2.4	9.5	13.3

●【参考】【平成 20 年・内閣府調査】

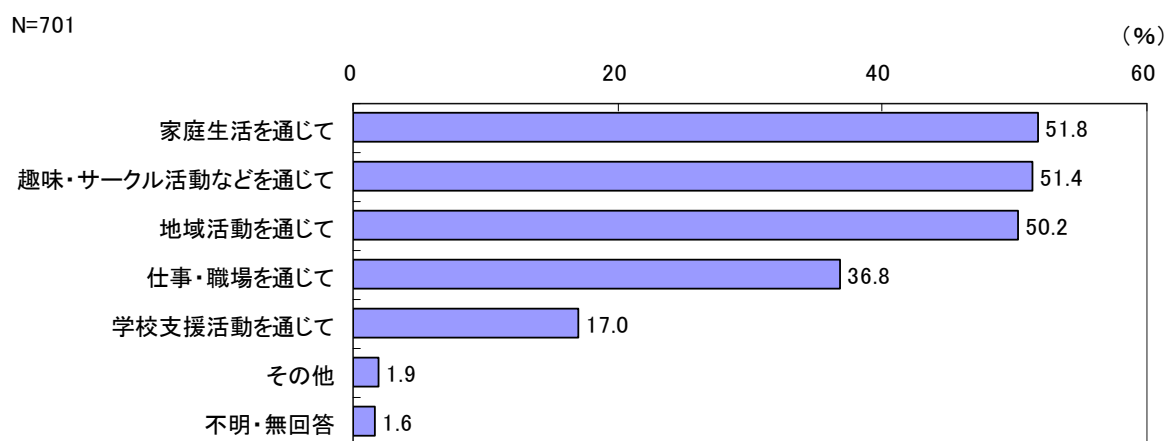
あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきだと思いますか。(単数回答)

生かすべきである	44.5%
どちらかといえば、生かすべきである	39.7%
どちらかといえば、生かすべきではない	3.4%
生かすべきではない	2.3%
わからない	10.1%

【問 13 で「生かすべき」と回答した方】

(問 14) 「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような場所・機会に生かすべきだと思いますか。(複数回答)

「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような場所・機会に生かすべきかについてみると、「家庭生活を通じて」が 51.8%と最も高く、次いで「趣味・サークル活動などを通じて」が 51.4%、「地域活動を通じて」が 50.2%となっています。

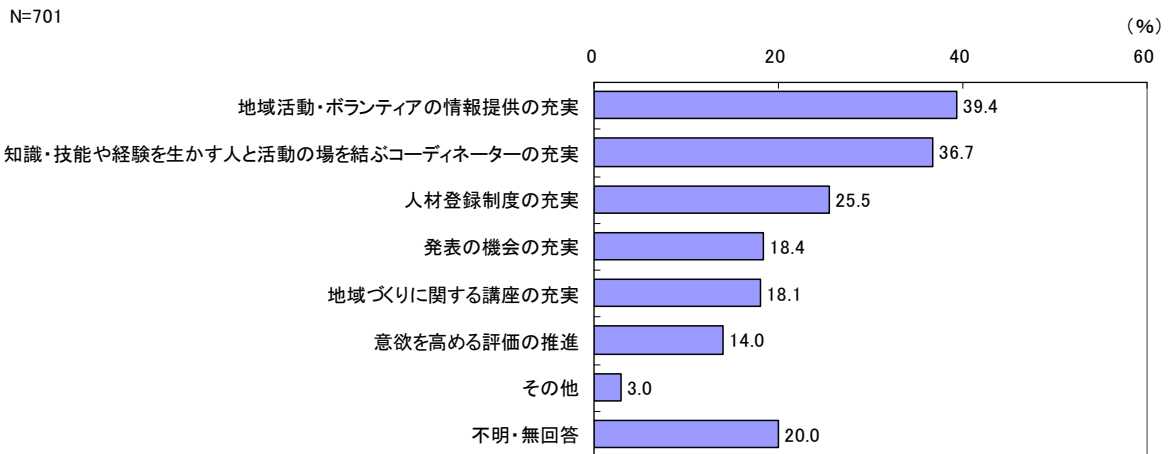


【問13で「生かすべき」と回答した方】

(問15)「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすためには、どのようなことが必要かについてみると、「地域活動・ボランティアの情報提供の充実」が39.4%と最も高く、次いで「知識・技能や経験を生かす人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実」が36.7%、「人材登録制度の充実」が25.5%となっています。

生涯学習活動の有無でみると、している人では「発表の機会の充実」の割合がしていない人に比べて高くなっています。



■問15（生かすためにどのようなことが必要か） × 問2（生涯学習活動の有無）

	N	発表の機会の充実	地域活動・ボランティアの情報提供の充実	人材登録制度の充実	意欲を高める評価の推進	地域づくりに関する講座の充実	知識・技能や経験を生かす人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実	その他	不明・無回答
している	545	19.6	38.3	24.6	13.4	17.6	36.1	3.7	20.2
していない	141	12.8	43.3	29.8	16.3	17.7	40.4	0.7	18.4

※ 「している」: 問2で、なんらかの「生涯学習」を行っている方と回答した方。

※ 「していない」: 問2で、この1年くらい「生涯学習」をしていないと回答した方。

4 生涯学習の振興に向けて

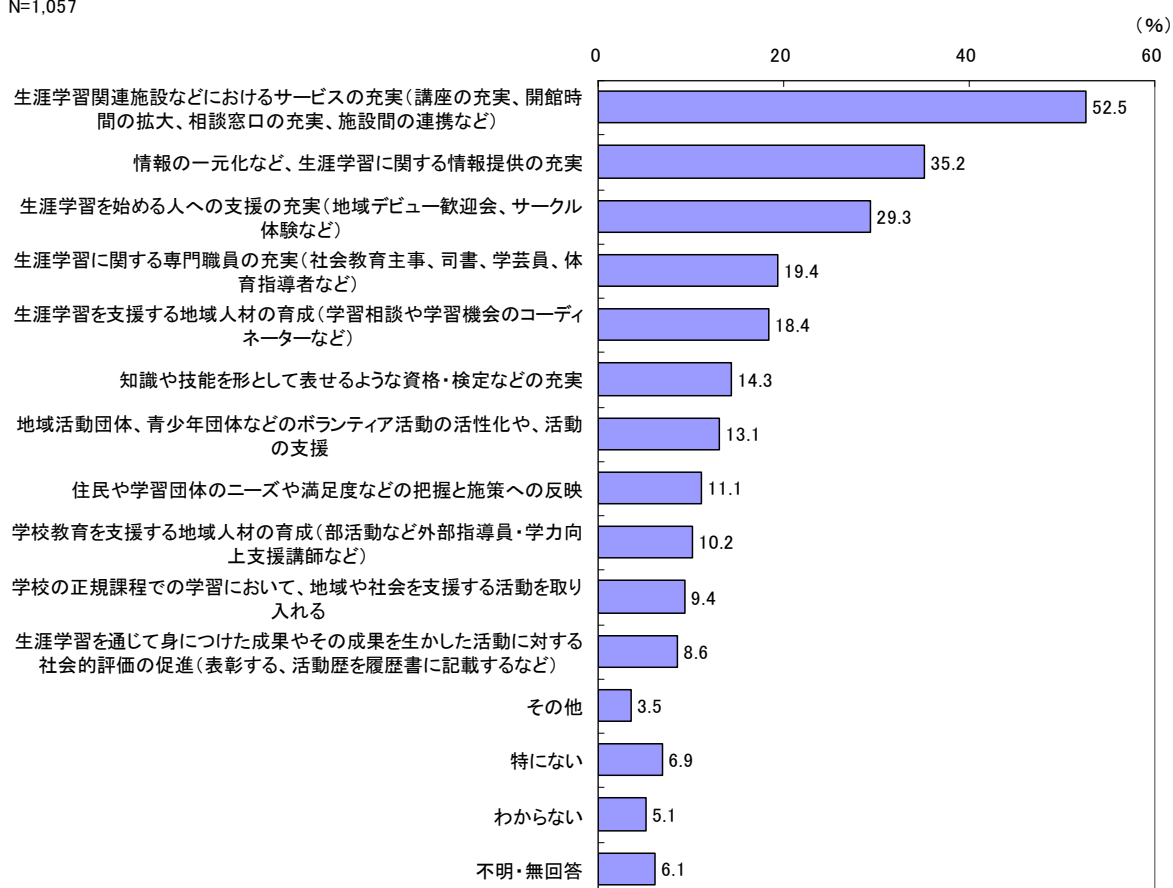
【全ての方】

(問 16) 今後、人々の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(単数回答)

「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、市で力を入れるべきことについてみると、「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実(講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など)」が 52.5%と最も高く、次いで「情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実」が 35.2%、「生涯学習を始める人への支援の充実(地域デビュー歓迎会、サークル体験など)」が 29.3%となっています。

生涯学習を行っている人といない人との比較では、ともに「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実(講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など)」の割合がそれぞれ最も高くなっていますが、生涯学習を行っている人の方が 10 ポイント高くなっています。

N=1,057



■問16（市が力をいれるべきこと）×問2（生涯学習活動の有無）

		生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）	生涯学習を始める人への支援の充実（地域デビュー歓迎会、サークル体験など）	生涯学習に関する専門職員の充実（社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など）	生涯学習を支援する地域人材の育成（学習相談や学習機会のコーディネートなど）	情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実	学校教育を支援する地域人材の育成（部活動など外部指導員・学力向上支援講師など）	住民や学習団体のニーズや満足度などの把握と施策への反映	地域活動団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化や、活動の支援	生涯学習を通じて身につけた成果やその成果を生かした活動に対する社会的評価の促進（表彰する、活動歴を履歴書に記載するなど）	知識や技能を形として表せるような資格・検定などの充実	学校の正規課程での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる	特になし	その他	わからない	不明・無回答
している	756	56.6	31.9	20.1	19.7	37.8	11.6	11.8	13.9	9.7	15.1	10.2	5.6	3.7	2.9	4.0
していない	247	46.6	24.3	19.8	16.2	31.2	7.3	10.9	12.1	6.1	13.0	7.7	10.5	3.6	10.5	6.1

※ 「している」:問2で、なんらかの「生涯学習」を行っているとお答えした方。

※ 「していない」:問2で、この1年くらい「生涯学習」をしていない、とお答えした方。

5 自由意見

問 17 市では「ぬくもりのあるまちづくり」を基調に、調布市らしい生涯学習施策を進めていきたいと考えています。あなたが考える「調布市らしさ」や「調布市の魅力」とは、どのようなことですか。

■分野別件数

項目	件数
自然環境	166
行政・施策	74
アクセス・立地	65
人・コミュニティ	54
歴史文化	41
住みやすさ・落ち着き	20
施設の充実	19
芸術・映画・アニメ	17
その他	43
合計	499

■主な意見

●自然環境
自然を身近に感じる生活を楽しめ、健康的なイメージがある。
自然を感じられる場所が身近にある。
自然豊かな町であり、自然と共生できる町作り。
自然豊かな町。
自然、歴史、文化、町と人の調和。
都会に近い割には自然が多く調布に帰ってくるとホッとします。しかし、土地開発も進んでいる所が増え、田畑がどんどん少なくなっています。やはり調布には「自然＝ぬくもり」と考えた町づくりが調布らしく思います。
緑を基調にした町づくり。遊歩道やサイクリングなど、健康づくりがしやすい町。味の素スタジアムを中心とした、スポーツ振興の町。歩行中の喫煙防止条件を施行してもらいたい！
緑の多い、知的かつ静かな町。
緑と水のある静かな住宅地。
緑が豊かな所、昔ながら住んでいる人達も多いので高齢者との交流がもてるような所。
緑が多く、道が広い。芸術活動がさかん。
緑が多く、市政に暖か味を感じている。
多摩川や野川の美しい自然を愛する住みやすいこと。
多摩川や神代植物園など自然に囲まれ、のんびりとした雰囲気が魅力だと思います。
多摩川や深大寺などを生かした事。
多摩川や深大寺等の、自然と歴史の融合した町。
多摩川や深大寺・神代植物園など、自然が豊かである事。
多摩川の深大寺など、資産と融合したイベントなどがあるといいです。
田舎っぽさ。
田舎っぽいところ、方言、住み易い土地(縄文時代から)、水が豊か。
閑静で緑(自然)の豊かな市。品性のあるまち(住人やお店など)
のんびりしていること。

のんびりした所、都会らしさと自然が混ざり、新宿駅から特急で2つ目。
のどかさ。
野川に代表される、やさしい流れと緑あふれる町。調布！！
良い意味での田舎らしさ(東京とは思えない感覚)。落ち着く空間。
ちょっとずれますが、「調布らしさ」とか「ぬくもり」から連想されるイメージは、「新撰組」や「ゲゲゲ」ではなく、「安心して歩ける道」とか「緑」とか「川」、それに「反核」「反戦」でしょう。

●行政・施策
福祉の充実。
調布に長く住んでいますが魅力は福祉が充実していると思います。
スタジアムを中心としたスポーツ関連のイベントの充実。
子育てへの理解。
子育て支援に力を入れているところ。
行政が行き届いていないので、調布らしさも魅力もなし。
「ぬくもり」=「人情」を連想するので、生活に密着した、人助けが出来るプログラムがあると良いなと思います。
ぬくもりのあるまちづくり(生涯学習とは関係なく)を市は目指していない。
犯罪のない知性豊かな町づくり。
身近に感じさせる企画と体制。
仙川ばかりが勢いのある美しい町になり、調布駅周辺を淋しく思う。田舎らしさが良いという団塊の世代の意見ががっかりする。調布の町は60代以上の人の意見ばかり集めているのか、集まってしまうのか。若い人だけのふれあいトークンとかしてほしい。若い作家の活躍できる生き生きとした町になってほしい。
34年間、東部地域入間町に住んでいるが、未だかつて「調布らしさ・魅力」を感じたことが一度もない！ぬくもりのあるまちづくりを目指すなら、もっと隅々にまで何事も平等に目をやり、末端の地域人でも気軽に楽しく生涯学習に取り組めるようやってもらいたい。何か物足りない！
6~7年の調布での生活です。あまりわかりませんが、行政の皆様が考えられているより、私にはとても不便な田舎です。それがらしさでは・・・ね。
これからもスポーツの盛んな調布であってほしい。
ごみの分別・回収率の高い市であることをヒントに、何か行動に結び付けてはいけないものだろうか。
高齢者にやさしい調布。
子供達が、学校で家庭で、元気に楽しく安心して生活出来る町づくりを作る事。
子どもが多く、それだけで町は明るいし、大人もシニアの方の表情が和らぎます。子育て支援が充実していてとても暮らしやすいです。放射能測定器の活用は素晴らしいと思いました。(児童館など積極的に測定して下さい、ありがとうございます)
高齢化に伴い、高齢者が気軽に参加できる学習コーナーが必要。(例えば簡単な物作り、季節に合った手作り物、料理など)
近隣の教育機関の協力を得て行う講座を充実させる。今は利用できないが、今後活用していきたい。
学習して得た技能を、地域発展に還元できる仕組みがあれば良いと思います。「役に立った」という達成感が得られる仕組みづくりです。それがローカルな自立した地域づくりに繋がっていくのではないのでしょうか。
いつの時も礼節を重んじる、思いやりのある調布市民を育てるべく、その方面の活動に力を入れたらぬくもりに繋がると思う。
図書館の充実、公民館での催し、老人に対する学習講座の充実。等、こちらからも期待しています。
調布市らしさにこだわり過ぎると、方向性や講座に偏りが出ると思うので、もっと「都心まで行かなくても市内で」できる、という点も重視してほしい。もっと「自分の市」に魅力を感じられるように。

●アクセス・立地
都心まですぐだが、ゆったりできるところ。
都心へのアクセスもよく、緑も多いところ。文化や歴史の香りがするところ。

都心へのアクセスが良い、子育てのしやすい環境。
都心部に比べ、まだまだたくさん自然が残っているところ。
都心に近くて野川、多摩川など自然が多い調布をもう少しまちづくりとして生かして行ってほしい。
都心に近い割りに緑が多い事、近所の農家などで野菜が手軽に購入できることなどいい意味で田舎っぽさが残っている所。
都心に近い割りに緑が多い。地理的に郊外、都心どちらにも出かけやすい。
京王沿線を活用した町作り。
「東京のベットタウン」
都心に近いながら緑が多く、環境がよい。・親子世代が一緒に買物している姿をよく見かける。結婚後も地元を離れず住み続けるところをみると、魅力のある街なのかなと思う。
都心に近いが自然もある。・子供たちが多い。
東京都のほぼ中央部にあり、都心にも高尾にも移動が容易である。
東京の田舎というが、本当に下町っぽさ、隣近所があったかいぬくもりのあるまち、というところ。
都会的雰囲気(駅前、都心からの距離)と自然(多摩川、深大寺)との調和。
トカイナカ。ほど良いぬくもり。ほど良い自由。
都会の中での田舎というところでしょうか。
調布市の魅力は新宿副都心からさほど遠くない位置にありながら、深大寺地域を中心に緑豊かな静かな住環境があるということ(私にとって)。ぬくもりのあるまちづくりとしては、その環境にすむ人々同士のつながりが豊かなこと。特に学習！と銘打たずとも諸活動(ボランティア、趣味など)でよいと思うが。
調布市の魅力は、その位置する場所です(都心に近く、自然や面積などが丁度良好)。調布らしさは、後からやこれから見出すことでありますが、都心部に対してのその郊外という、あえて表現すれば中間性という事ではないかと思えます。
新宿から15分、人口20万人という、プチ郊外の恵まれたロケーション・・・にも関わらず、一言で表すキャッチフレーズが無い街。京王線地下化をきっかけに、住む・暮らして満足度No.1の調布にしていきたいと思います。

●人・コミュニティ
調布のぬくもり、らしさ・・・幼児も老人も住みやすい、隣人と声掛け合える街。70歳、80歳になっても、楽しく集える場があればほしい。
若者達が集う町。
若い人にも参加してもらい、活発にしてもらいたい。
老若男女一緒に参加。調布っていいな、調布に生まれてよかったと思える環境。
老若男女が一緒に参加出来るような生涯学習のチャンスがあれば、世代交流も生まれ、町づくりにも役立つと思う。
人への思いやりです。
人々がゆったりと暮らしている町。日々の生活を大事にしている人が多く住む町。緑が多く美しい町。便利な町。
人に優しく思いやりのある心。
人と人とのつながりがある。
お互いが助け合って生活していけるような社会の構築。
健全な若者が多い。
経験豊かなお年寄りと、児童や若い世代と共に、情報や技能を分かち合う事により、お互いが理解しあえるような場での地域活動。
生活者が主体になれるまち。
「若年層の育成・確立」これ無くして市の成長は無いかと考えています。強化する事により、若年層から見て、調布市の魅力が得られるのではと思います。
アットホームなイメージ。
温かい気持ちをもった方が多い様な気がします。
活気があって、温かい。
近所が笑顔であいさつできる事。
年齢を越えて近隣の方々と触れ合える温かい市。

幅広い世代層の交わりの場を設けること。
昔から住んでいる方々の温かさやつながりがすごく今の世の中の冷たい人間関係から見るとうらやましいので、そのような所がアピール出来ると調布らしさが出てくると思います。
地域密着、助け合いのできる町。
地域への呼びかけにより参加しやすい環境づくり。
地域の連帯、豊かな自然。
地域に根差した活動がさかん。近所どうしの連携。
地域における活動が盛んで、地区ごとのつながりもあること。
地域コミュニティの充実。自然に恵まれた環境。
地域(学校)と地域(家庭)の強いつながりがある事。
人材が豊かな地区と思うので広い視野で1つの企画を多面的な角度から考える事が出来る事。
コミュニティの充実
地元商店街に活気がある事。
生涯学習を通じて地元の人々とコミュニケーションが取れるところ。都心に出なければ何も出来ないのではなく「そこ」で色々な事が学べる。体験できる所。
正直なところ、何が調布らしさかわからないのですが、リサイクル率が高いなど、市民のモラルの高いところは素敵だと思います。
上手な表現方法がないのですが、水木しげるさんご夫婦のような温かいご家庭の多い市であってほしいと思います。
調布市に住み始めて30余年、調布らしさ、魅力というものが分りません。隣の府中市の様な地域毎の強い結び付きの様なものがもっとあればよいと思います。
ちょっと田舎っぽく、人々が声をかけ合い、知らない人とも世間話が出来る様なのんびりした環境があるように感じます。
調布らしさは正直よくわからないが、ボランティア活動などが活性化することで、助け合いの市、市民参加の市のイメージの定着を願います。

●歴史文化
豊かな緑、歴史、文化。
史跡が豊富。
歴史や風土、豊かな緑、大学等の高等教育機関の存在。
歴史へのゆかりが多い事。(万葉集・新撰組など)
歴史と伝統を生かしたら良いと思う。
歴史と自然の豊かさだと思います。
歴史が古く、農村の雰囲気が残っていること。
歴史、文化があること。
昔らしさと新しさが融合しているところ。
身近に農家や深大寺などの伝統を感じさせる施設があること。
まだ市民になって1年未満なのでよくわかりませんが、都内では比較的自然や文化財の多い地域と思います。歴史探訪ツアーなどよいと思います。
文化にも力を入れている。
文化、芸術の町。地産地消の町。
深く考えたことはない。但し新撰組(大河ドラマ)に便乗するような浅はかな調布のPRはやめて欲しい。
日本の伝統、文化を活かしながらの国際交流の場をつくること。
調布市らしさとか魅力とかは、調布市の伝統や地理的特徴等、歴史や文化面の教育も土台となるはず。ぬくもりのある等、美事ではなく、市としてどう考えているか(具体的に)を示すべき。
調布の歴史、東京都における調布市の位置・役割。自然を生かした町造り等、調布市らしい町の在り方。
調布のよさ、そもそも言えない。大好きですが言えと言われると文化的には。。。。
調布の花火大会、盆踊り、灯籠流し、よさこい祭り、文化祭などそれらの行事があって、家族や友人が集まるのが調布らしい。

調布の花(植物園とか)等、神社・遺跡などの地図とかめぐる集いなど。
調布の自然や昔ながらの伝統的な事を大事にする。
調布市は歴史のある住宅街主体の町。年配者を敬い、子供の教育に熱心なタテヨコの繋がりがあある町になってほしいと思っています。
スポーツ(サッカー場)、調布飛行場、深大寺などスポーツ・文化・自然の調和があること。
深大寺や布多天神をはじめとする神社・仏閣で、もっと気軽に子供が遊んだりできるといいなと思います。古くからあり、調布の財産だと思うので。
深大寺や多摩川等自然があるのでそれを生かしながら活動できるとよりいいと思います。
深大寺の歴史や緑の豊かさ。また地域に根付いた子どもや、地域の関わり方はとても魅力的です。
深大寺周辺の歴史と自然環境は、大切に残して欲しい。野川・野川公園・多摩川など。
深大寺があるので、そば作り体験できると、調布市らしいと思います。
深大寺・神代植物園を今後も大切にしてください。
深大寺・神代植物園・布田天神・だるま市・武者小路・ゲゲゲ。
深大寺、植物公園、多摩川と自然をいかしたらいい。
市の歴史、産業、地形、風土などと日常生活との関係を更によく理解する為の活動。
教育・文化の充実。
多くの文化人の方々が住んでいらっしゃるようなので、文化を育む町であると思います。
「調布らしさ」がいまいちよく分らない。もっと文化的な香りが欲しい。

●住みやすさ・落ち着き
生活のしやすさ、子供が多い。
住んではいるが、ほとんど出かけているのでよくわからない。
住みやすさ(まず安全であることが第一)。都心に出なくても文化に接する事が出来る事(グリーンホール等)(唯一の映画館がなくなったのは、とても残念です)。
住みやすく便利。
住みやすい町であること
住みやすい町。コミュニケーションのとりやすい町。
何となく住み易い町、であり続ける為にこれから増加し続けるお年寄りに優しい町づくりをお願いします。会社の同僚が結婚して調布市のマンションに住んでいます、調布市が気に入って今は市内で一軒家の物件を探しています。
「住みやすい」
深大寺周辺など緑が多く、生活しやすい。魅力ある地域だと思う。
人が住みやすく、地域の輪をつくることできることだと思います。
町が穏やかで生活しやすい所が魅力です。
発展しすぎていないので、気負う必要もなく生活できる。
調布市は住みやすく、地域の交流もあたたかみを感じる。近くの小学校での行事も子供達の心の成長を考慮しており、素晴らしいと思っている。
新規転入者がすくになじめるような、親しみやすい落ちついた環境。
都内では緑も多く、都心に近く、相対的に住みやすい。
都市としての集客力のある便利な所。
落ち着いた住環境。
落ち着いた環境。都心から近いが自然が多く、オアシス的な居心地。田舎くさくない。宝探しの感覚。
落ち着いた、住みやすい文化程度の高い街。
閑静で落ちついた雰囲気。

●施設の充実
よその町のことはわからないが、昔に比べて施策が充実している。公民館・図書館も実に使いやすい。ありがたい。
豊かな自然、図書館や体育館など、教育文化施設が充実した文化都市。
福祉施設の充実。

公共の施設等を幅広く開放するなど。
公共施設の充実度。
神代植物公園や調布飛行場、多摩川河川敷、オンリーワンで。
せっかく電通大や外語大が近くにあるので、これらを活かしては。警察大学校や消防大もあるのでこれらも活用して欲しい。
他の町にない観光、施設の案内(細かい部分を強調)。
味の素スタジアムがあること。
施設が比較的充実している所。
②せんがわ劇場やグリーンホールなど、身近に音楽・芸術に接することができる施設がある。
味の素スタジアムや、(武蔵野公園等)公園等を利用しての活動内容の充実。
味の素スタジアムという全国的にも有名な施設を利用した、色々なイベントやスポーツ教室などをもっと増やしてもらえると魅力が出ると思います。
引っ越してきた者なのでよくわかりません。しかし、スポーツ施設・公園・グラウンドは充実しているし、図書館などは立派な建物だと思った。
市内にある大学が色々な面でその特色を生かしてご協力下さるところなど調布らしさ、調布の魅力の1つだと思います。
市の玄関とも言える駅前(特に南口)に緑が多く、以前は池もありましたが、やはり一歩街へ入ると樹木に囲まれ、数分の所にグリーンホール、たづくりなどの公共施設が充実している事が魅力です。今後も南・北共に緑豊かな駅前広場を望みます。
生涯学習の為の施設が充実していると思います。
調布市の施設を利用した事があまりない為、調布市の魅力が良く分かりません。
都内で有数のベッドタウンであり、有名な学校や病院も多いため、教育の町、人材育成、学習や医療と密着した人々の集まる町！とはどうでしょう？

●芸術・映画・アニメ
映画の街・緑豊かな風景。
映画のまち。
映画の街、みどりの街。
映画・TVドラマのロケ地。フィルムコミッションを作ってもらいたい。
鬼太郎なイメージ。
音大、映画会社などのイメージを拡大させるべく、市民に芸術分野など専門的な生涯学習の機会が得られるような機会を作って、それを魅力としてはいかがでしょうか。
音楽のイベントが多い。
ゲゲゲの鬼太郎。深大寺以外の場所でも「そば」に力を入れてはどうでしょうか。静かで良い街だと思います。が、娯楽が少ない？
芸術面で広く市民が活躍できるような環境を作っては？
決して気負わず、気軽に取り組めるように「ゲゲゲの女房」を通して昭和史の調布を是非研究したい。
「ゲゲゲの女房」でも有名になり、ゴミ対策にも力を入れて、そういう一つ一つが調布市の魅力となるのでは。
NHKの朝のドラマに出てくるようなものをヒントにするものが「調布市らしさ」「調布市の魅力」と思う。
もう30年以上前ですが青年の日のようなイベントが月に1日あり、私もフォークグループを組んで歌っていました。調布は神代中学が合唱日本一だったり、音楽が盛んだった記憶があります。
街の穏やかさがいいと思います。映画の街のイメージも以前よりは浸透してきたと思いますが、もっとその部分を強調する方法があるような気がします。
生涯学習とは関係ないけど、「市の魅力」は、多摩川・深大寺・味スタ花火など、観光やイベントなどで他所から人が来たり、水木しげるさんのような有名人がいること。

●その他
私は今まで調布市の生涯学習にあまり興味がありませんでしたが、もっと色々な分野のプログラムを計画して魅力ある生涯学習施策へ進めて頂きたいです。

まず、ぬくもり？って何か、その定義を議論し、調布のイメージ・魅力は(緑色、公園、自然・・・)と結びつけ、生涯学習のPRにつなげる必要がある。
他の地区と比べて、特別”らしさ”があるとは思えない。
広く浅くで表面だけ行っていてどれも中途半端な気がします。深く掘り下げてほしい。学習にしても健康でも年間を通して続ける事をお願いしたいです。
人それぞれ趣味嗜好違いますので、何とも言い切れません。調布市らしさより、自分らしさを重点におきたい。
ぬくもりのあるまちづくりが最高だと思います。
調布市のイメージは閉鎖的だと思っています。開かれたまちづくりが必要だと思います。
調布市大好きでぬくもりのある町、もっと好きです。
スポーツ関係のサークルは多いが、文芸は少ない。例えば短歌・俳句など。
市民が集団で課題について学び、集団で実践することで、経験として学び、それを学術的に成功・失敗ともに分析して、次への集団的課題の学びへとつなげていく。
高齢者が多い調布市。その方々に手を差し伸べる若い力が必要。自分の生活に忙しい若い人達が生涯学習等に興味を持ち参加。そこで得た知識や思いを自分以外の人に向ける優しさが大切である。
気取りのない町。
お年寄りや子供が多いと思うので「みんなが安心して暮せる町」が理想です。
駅前に人が集えるようなまちに。
移り住んで3年にも満たない為、「調布らしさ」は分りかねる。また特筆するような魅力を感じた事はないが、何かが抜きん出て悪い所なわけではないのが魅力であると思う。
色々な意味で地域の結びつきだけでなく(井の中のかわずにならず)、他の地域との交流、などで気付きのなかった点なども気付き、前向きに掘り下げていけるのではないのでしょうか？
50代～60代は意識的にボランティアや調布市の色々な事に参加させていただいておりましたが、今は静かに好きな趣味をしているくらいで、あまり良いお返事が出来ないでごめんなさい。
”らしさ”を求めると、”世界”を狭くしてしまいます。選択肢はなるべく多く、個々がそれぞれの判断で深めるべきです。

問 18 その他、市の生涯学習振興へのご提案、ご意見など自由にお書きください。

■分野別件数

項目	件数
情報提供	45
学習メニュー	43
学習への参加	38
行政・施策	35
施設利用・運用	32
学習時間帯	22
学習への補助	19
生涯学習について	15
施設整備	10
アンケート	10
学習の循環・還元	10
連携	9
学習・発表の場	9
ボランティア・人材活用	7
指導者・専門家	6
調布らしさ	5
その他	30
合計	345

■主な意見

●情報提供
<p>広報紙やHPを見ると、いろいろな施設や講座等があるのが分かるのですが、その内容がどんな感じなのかが見えにくい。というか想像しにくく”参加しよう”という気に至らないような気がします。間口が狭く感じるというか、知り合いのいない状態の人が始めるには難しいのではと思います。ボランティアもやってみたいという気持ちを持っている人は(私もですが)多いと思いますが、紹介してくれる知人のいないケースが大半ではないでしょうか。町内会も無いですし。興味を持っている人向けのQ&Aのようなコーナーとか、ビギナー向けのブログとか。</p>
<p>やってみたいと思うが、講師の評判や価格相場も分からない為、なかなか手が出ない。口コミを広げる手法を考えてもらえるとうれしい。</p>
<p>もっと宣伝して下さい。調布市に生涯学習の場があることすら知りませんでした。</p>
<p>待つだけでなく、積極的に呼びかける学習を。</p>
<p>普段働いている人は、市役所やたづくりetcに行く機会がほとんどないので、生涯学習やサークルの種類など、知る由もない。各家庭に配っている広報誌の中でコーナーを作って、種類や活動日etc載せても良いのでは・・・。</p>
<p>どんな講座をやっているのかがよくわからない。</p>
<p>どこにどんな講師がいるのかなどの調布市内の情報が分かるようにしてほしい。</p>
<p>どこで何をどのようにやっているかが分かりにくく、地味。判りやすいマップや、見やすい情報を発信すべき。</p>
<p>持つ知識を、社会・地域へ還元したいと考えていても、人材登録バンクや講師募集の情報がない。</p>
<p>情報不足。講座の内容、市のどこに問い合わせするのかさえ分からない。以前たづくりで一度質問したが、対応が悪い。民間では考えられない。</p>
<p>情報の一元化を望みます。今のままだとどこがとりまとめていつ情報が出るのか分りにくく、バラバラで探すだけで正直イライラしますよ！</p>
<p>市報を見やすくしてほしい。(スケジュールを表にする等)一人でも参加しやすい学習会がありがたいです。</p>

生涯学習の情報をわかりやすく、入手しやすくしてほしい。(市報で載せるだけでなく、生涯学習だけの発行物があるとわかりやすいと思います。)
生涯学習の情報をより多く、よりこまめに発信し続けてほしいです。なるべくコスト(税金)をかけない(かからない)生涯学習情報発信、及び生涯学習を望みます。
市で作成しているサークルマップを見て興味をもったものもあるが、どの世代が中心となって活動しているのかわからず、躊躇してしまう。自分と同年代のサークルに入りたいと思うので、年齢構成を記載してもらえると抵抗なく申込みしやすい。
自宅からはたづくりが近いので、サークル活動や講座をよく利用しています。市のホームページや市報などで一般の人が参加出来る講座の内容やスケジュールなどを公開して頂けるとありがたいです。
市がどんなことをしているのか、具体的に知る機会が少ない。広報だけでなく、ダイレクトメール的なものがあると解りやすい。但し費用は掛けない方法で。
交流・生涯学習をする事によって世界が広がる事が、特に若い世代に伝わっていない。実際伝わりづらくなっている。プライバシーの問題があるので、仮面やサングラス着用の上、活動中の写真を撮影させてもらって、HPや掲示板に貼ったりしてはどうだろうか。雰囲気により伝わりやすくなると思う。
広報を、もっと市民に伝わりやすいように工夫してほしい。
広報の配布はされており、目を通しますが、様々な世代に見やすくわかりやすい内容でお願いしたい。又、興味を引くような文章が良いと思います。
講座を通して、継続できる情報の提供・紹介。(1回の講義のみで終わるのではなく、大学等でそのような教育内容があるならその情報)
興味を持つきっかけとなるような情報が目に付くようにして頂きたい。
活動や講演の内容がもう少し具体的にわかり、魅力をアピールされていると助かります。
今は生活に精一杯なので参加出来ないが、これから参加していく為の情報がたくさん欲しいです。

●学習メニュー
もっと沢山の人が入りやすい会やサークルや活動などを増やして欲しい。
もっと高齢社会にも幅を広げて欲しい。高齢者が元気で生活して行く上でも。
民間の講座や通信教育とダブっても意味がないのではないかな。
魅力的な講座を増やす事が必要だと思う。
平日昼間は市外で勤務していますので、土日等で参加できる講座や行事があるといいと思います。
府中市の生涯学習センターを利用することがあるが、パンフレットを見ると、講座・教室が充実しているので、羨ましいと思う。
一人でも気軽に始められるような場や、サービスの充実を。
隣の府中に比べて、講座の数、分野などとても乏しく感じてしまいます。
例えば1年とか2年とか長いスパンで講座は出来ないでしょうか(環境問題とか、芸術とか、1人の作家についてとか)。
体験学習のような機会があると参加しやすい。(期間の長い活動にはなじむのに時間がかかるので、結局参加しにくくなってしまう)
大学の市民講座などもっと増やして欲しい。夜の時間帯で受けられる講座を増やして欲しい。
専業主婦はやはり価格が低い方がよい。色々選択肢もあれば、積極的に利用したいとも思います。
世代別・性別等の細かな区切りで、その年代等にあった講座、ボランティア活動等があると興味も湧きやすく、同年代とのコミュニティもでき、楽しめると思います。
心臓蘇生の講習等AEDの使用法の講座などこれから、高齢者が増える時代に向けて先進的に活動していける事を望みます。命が一番大事です。
震災後、救命救急・AED・防災など、気軽に接することのできる機会が増えたらと思います。
初心者向けの講座は多々ありますが、スキルUPのための中級者・上級者向けの講座をもっと企画していただけると嬉しいです。
調布には大きな病院が多いです。今テレビでも雑誌でも人々の興味、関心は「健康」にあります。病院と連携して「調布ヘルスデイ(仮)」と題して住民に対する栄養指導、相談会、無料の血圧測定等積極的に地域と病院が関わっていったらいかがでしょうか?もっと病院と地域のつながりを親しみやすくしたらよいと思います。

生涯学習は女性の参加は多いと思うが、退職後の男性の参加が少ない。男性の地域参加へのプログラムを充実させてほしい。
社会人向けに乏しいと感じる。
資格取得が可能な講座等の充実と、その講座の日にちを、仕事をしながらでも受講できるような時間帯にしてほしいです。
子供のプログラムの充実をお願いします。
子どもが幼稚園へ行っている間に行ける「心と体のストレッチ」(あくろす)は市でやっているの、無料でとても良かったです。料理や手芸など、同じようにいろいろなジャンルで主婦が参加出来るものがあれば参加したいです。
高齢者でも気軽に参加出来るような学習サークル的なものを希望する。
結婚できない人々を、テニスなどの集まりが自然に出会わせる。調布市内で子どもを増やすためには、婚活を応援するのが1番だと思う。
芸術の町としての色が強くなっていくように他にも例えばユニバーサルホッケーは都内でも調布が一番盛んで毎年全国優勝出来る様なスポーツであり、市のスポーツとしてとりあげて頂いてもいいと思います。老若男女誰でも出来る生涯学習としてもぴったりのスポーツです。又昔ながらの農家の方々に受け継がれてきた文化や祭りなどこの規模の市だからこそ小中学生などに受け継いでいく活動が出来ると良いと思います。
グリーンホールやたづくりで催されるコンサート等の内容が府中芸術劇場に比べてもう一歩という感じがする更なる充実したプログラムを望む。
科学系にももう少し力を入れて欲しい。三鷹市がうらやましい。調布にもJAXAがあるのに。
今はまだ子供が小さく、行きたい講座なども行けないが、色々参加しやすいものを今後もやって欲しいと思います(幅広く)。
家族ぐるみで学習できる機会があるとよい(月1回のウォーキング、フェスティバルなど、大人対象で)。
これから歳を取るにつれ体がついていけないので、ストレッチとか、体操が気軽に出来るのを教えていただきたいです。
「学習」というような敷居の高いものではなく、民間のカルチャースクールのような、気軽に興味のあるものに参加できるような内容の講座を多く企画してほしい。

●学習への参加
私は引込み思案でなかなか新しいグループに入りにくいのですが、老後それでは淋しいと思うので、地域の中に入れるようにしたい。(地方出身のため、地縁もないので)
若い人には色々な学習に参加してそれをいかしてほしい。
皆が入っていきやすい環境づくり。
学びたい人と、講師希望者のコーディネート、市主催のサークル活動など、分かりやすい、親しみやすいシステムを作って頂けるとありがたいです。
文学散歩の旅行に、申込み当日すぐに申し込んでもいつもいっぱいです。会に入っていないと無理でしょうか。公報が来た時は遅いのですか。
人が集まりやすい場(例えば「たづくり」の1Fロビーなどに)さりげなくコーナーを設けて(お喋りコーナーなど)それが徐々に「〇〇サークル」に育っていくような仕掛け、仕組み、それをうまく組立、推進していく人材の発掘等。
始めの一歩が踏み出せないでいる人が多いと思う。すでにまとまっているサークルの中に入会するのは勇気のいることですね。
なかなか一人で新たにサークルやボランティア活動に参加しにくいので、初めて参加する人をあたたかく歓迎してくれる学習グループが多くなると良いと思います。
定年退職2年目。地域デビューして友達がほしいが、何を学習すればいいのかわからないです。
自治会、近隣所の交流が希薄で、大災害等が起きた時はどうなるのかと不安です。一人暮らしの老人が家に閉じこもらない様、各地域に安価で利用できる専門の指導員の居る市の健康施設や、コーラス指導をしてくれる広き門のサークルなどがあると良いです。
これまで会社生活一本で生きてきたため、地域は無関係と思っていましたが、定年を控え老後を意識するようになりました。今住んでいる地域(杉森小学区)は、夏祭り、運動会で地域の交流の場が盛んな所です。こうした機会を充実することで、生涯学習に溶け込みやすい様になるのではないのでしょうか。

子育て真っ盛りのため、仕事との両立でいっぱいですが、機会があれば市などでやっている学習講座とかにも参加してみたいと思っています。魅力ある講座や施設等、行政の方もフットワーク軽く色々やってみてほしいです。期待しています。
厳しい環境の中で市民が安心、安全を考える一番の拠り所が市政である。生活環境が昔の様に向こう三軒両隣の優しい地域社会が薄れているこの頃。誰もが何か身近に参加出来る「今何か1つ生涯学習に参加する運動」を推進する。
きっかけづくり、体験することで自分がしてみたいことが見つかるかもしれない。もっと興味、関心の出来るよう、呼びかけが必要。
学習へのデビューがしやすい様な環境作りが必要だと思います。
色々参加できて試せる期間のある教室・団体があると、気軽に入ってゆきやすいので、希望します。
一般的に現役を退いた人が取り組んでいる、というイメージが強いが若い人々が積極的に参加出来る内容、利用回数、時間を設定するようにしたらいいと思う。
自分の学習希望をどこに相談してよいかわからない。

●行政・施策
若者の力を使ってほしい。やりたい事があっても機会をうかがっている人が多くいると思う。
役所仕事ではなく、親身になって行動して下さい。
皆さんとは言いませんが、役所の方が踏ん返り過ぎだと思います。市民への情報説明が少なく、問い合わせに行っても人を見下したような対応をよくされます。街を代表する役所の方がこうだと、その街の質が知れてしまうような気がします。
何でも行政に頼らず、自主独立の精神を持つ市民を育ててほしい。国の再建は個人からですね！！
何か1つでも市の目的として健康になら指導員をつけて老後も生き生きと1人で歩ける様に行うとか、これだけは他の市に負けないという特長を打ち出して欲しいです。
調布に住んでもう長い期間サークル活動をしています。教室予約等での受付の方の態度がかなりよくなったと思います。(以前はお役所仕事のムードそのままでした)。でもまだまだのようです。担当者の各グループについての知識が余りないような気がします。情報の更新も遅いのではないのでしょうか。せっかくのシステムがあるので、もう少し目を配っていただければと思います。
生涯学習を市の行政として行っていただくことは大変良いこと。素晴らしいと思います。ただこの厳しい実社会で役に立つ「本物」の学習と、「本気」の取り組み、姿勢を見せて下さい。何が市民に望められているかを見誤らないでほしい。えらそーですいません。
職員の方の仕事の役割をもう少しハッキリさせて、自覚と責任をもって取り組んでほしいと思いました。
市民の何%が参加しているのか？のべではない数で、10%に満たないのであれば必要の無い行政サービスと思います。半分以上の市民が恩恵を受けることに税金を使ってください。
市のはずれの地域に住んでいる者にも公平に市政を行ってほしい。調布市民という気がしない。税金だけ取られて。
市というよりは、企業が推進したほうがよい。
生涯学習というのは、極めて個人的な営みであると考えていたので、地域振興策と連関させることに、いささかの違和感を覚えます。ただし、意欲のある人たちに、広く門戸を開放するという方向は賛成です。
今回の東日本大震災、被災された方々には心よりお見舞い申し上げますが、日本全国色々な所で自分の事として考えたり、行動したりしていらっしゃる方々が非常にたくさんいらっしゃる。このような機会を大切に、行政として取り上げてほしい。
行政サイドでもっと試行錯誤して、色々なものを提起して欲しい。他市・他区のことをもっと研究して、若干努力不足とっております。他区報等、結構楽しいです。
あまり介入しすぎず、ほどよい距離感を保って実施して下さい。
40年調布市に税金を払っているが、何もしてもらってない。生涯学習に税金を使う事は私は絶対反対です。市は減税をするべきだ。
市のめざす生涯学習とは何かわからない。核となるものが必要。

●施設利用・運用
図書館を良く利用しています。今度新しく深大寺図書館が移転されましたが、自転車の置き場所と車のおき場所が少なくてこまっています。広くできたらうれしいです。

図書館の充実。司書の方には大変お世話になっております。国会図書館、都立、他県、大学等への連携プレーは見事です。(ハードな仕事の方ですから軽減の方向へ)(職員の増員 etc)。
図書館の司書の方に感謝しています。司書として有能です。
図書館においては知識を得る為読む本、法律の本、医学の本などは改訂版が出たら速やかに更新して頂きたいと思います。
図書館(分館)の時間延長。
テニスが趣味なのですが、市民コートをとるのが大変です。年間の半分は落選で年に8回程度しかコートを確認出来ません。特に土日にテニスを出来る環境をもっと充実させて下さい。
地域センターや図書館(分館)を利用しての講座の実施なども考えてくれるとより身近で参加しやすくなる。
地域センターなど、当日部屋が空いていれば予約なしでも使用できれば良いと思います。
短期間だけやっていた活動は生涯学習に入るのか良く分らなかった。施設の練習室、会議室は空室なら前日とか直前の申込みにも対応して欲しい。空室なのに申込み期限が過ぎていると断られたことがある。芸術系の活動をする人にとって活動場所の確保は切実な問題なので。
たづくりはたまに利用しますが、その他の施設はあまりなじみがありません。利用しやすい、なじみやすい施設にしていく必要があると思います。
たづくりにある社会人学習室の席を増やして欲しい(満席でなかなか使えない時がある)。図書館の充実。
体育館を利用させて頂いていますが、使用料が高い割には空調が悪く、夏は倒れそうになります。何とかして下さい。
仙川劇場借用時の鍵の扱い方法、劇場に職員が居るのに何故その場で鍵を受け取る事が出来ないのか?非常に不便です。
施設を借りる時に、振込などの方法が取れると良い。
自由な時間に利用したい。(例、図書館の時間拡大)。
市の生涯学習関連施設へは、普段の生活の中でなかなか行きつけがつかめません。もっと民間の場所をつかって、気軽に始められるものがあつたらと思います。
実篤記念館と神代植物園によく近いので行くので、もっと休みを少なくして、足しげく行けるようにしてほしい。
自習室は土日は満席状態が1年中続く。席数の増加等により、学習機会の損失を抑止できるのではないか。
公民館の役割が不明。公民館で何をしているのか、が良く分らない。
公民館のセミナー等に参加したいと思いますが、一部の思想に偏りすぎて行きたい気があまりしません。もっと日本人として、日本の為、子供の未来の為になるような考えを持った方の講座を望みます。
公民館活動を増やしてほしい。
学習場所、時間などが取れやすくして下さい。
あくろす利用者に市外の人が多いように見受けられます。調布市の税金を使っているのであれば市外の人が多いグループの利用は如何なものかと考えます。

●学習時間帯
魅力ある講座が、平日が多いのが残念です。土日、又は夜間にも拡げて下さると嬉しいです。
毎日深夜まで働き、土日も仕事な事もあります。とにかく、6:00 スタートとか、平日昼間だけとか、一切行けないので、世のサラリーマンの実態に合わせてほしいです。
プログラムの充実に期待しています。
フルタイムで働いていますので、平日の講座などは参加出来ません。この先積極的に参加するためにも、夜や休日に参加出来るようにして下さい。
内容に興味があり、参加したいと思っても平日の日中は参加出来ない。どうにかならないものか?
土日開催の生涯学習を増やして欲しいです。
たづくりの掲示板を見て、いいと思う講座があつても平日の午前や決まった曜日だけで固めてであると申し込めない、ワイン講座や芸術歴史関係、夜間や土日にも増やして欲しい。
成人してからの学習は仕事を持ちながらであると曜日、時間帯、金銭的な面で様々な制約があるので、取り組みやすい、講座等を安価で提供してほしい。

小学生から高齢者までが出演するコンサートをやっていますが、働き盛りの人も一緒となると土日が望ましいが(例えば仙川劇場など)土日にとるのは年々困難になっている。
受講時間が偏りすぎている。サラリーマンの為に、夜間も受講できるようにすべきです。しっかり住民税を納めているサラリーマンが受講する機会が少ないのは問題。
仕事をしている人でも参加できる様な工夫をしてもらいたい。
仕事が忙しく関わる時間がないが、時間が出来れば関わってみたい。
資格取得が可能な講座等の充実と、その講座の日にちを、仕事をしながらでも受講できるような時間帯にしてほしいです。
強いていえば、会社員の通いやすい時間で、なおかつ魅力的なメニューがない。
学習がコース化されている場合に、都合がつかず参加しづらい。
会社員なので、もっと土・日の生涯学習の機会を増やしてほしいです。

●学習への補助
無料通信講座の充実。
民間で学習する上で、補助制度をつくれればもっと広まる気がします。
年金もとても少ないので経済的に苦しい。あまりお金の負担がかからず勉強したい。人々とも交流したい。
保育サービスのあるものもあり、助かっています。
中学校教師の部活指導に全くやる気が見られない先生が少なからずいます。そういう顧問は必要ないので、それに代わる指導員を派遣して欲しいです。中学男子は体力が有り余っているので遊ぶ時間がないほど部活で体を鍛えてもらいたい。
せっかく受講したい講座があっても幼児がいるので保育サービス有りのものしか受講出来ません。料金時間等にサービスが拡充されれば嬉しいです。
生涯学習を指導する側(講師やスタッフ)がきちんとした報酬が得られれば、より質の高いサービスができると思います。
授業料、講座料が高すぎる。
参加したい内容のものがあっても、保育サービスがなかったり、時間帯が子供の送り迎えに重なったり、子育てしながらの参加が少し難しく感じます。
子どもが小さいので、なかなか市の生涯学習に参加するのは難しい。大人が勉強している間、子供も英会話etc子供クラスを作ってくれと、安心&子供のためにもなるのでありがたいです。
高齢者が多くなっているので出て行くにも苦痛、足腰が悪いのでよく聞きますミニバスがもう少し出してもらいたいと思います。調布は粕江より遅れている感じがします。
講座費を安くしてほしい。
グリーンホールやたづくりで、一流の方々のコンサートがあるが、チケット代が高いので、生涯学習の意欲を高めるために、時には市民(特にシニア)は抽選でもいいから無料、又は半額などの機会があると良いと思う。
金銭的な問題が、学習をする上での障害になっている人への支援を、もっと手厚くして欲しいです。
近所付き合いが少なくなって淋しい思いをしている人もいますので同じ町内、駅近くなどで無料で参加出来る何かを開くと良いと思います。
学習にかかる費用の一部を支給してくれる制度が(教育訓練給付制度)あるが、支給対象者が限られている。もっと誰でも受けられるようにして欲しい。
足が不自由でないので送迎して頂けると喜ばしく意欲も出てくるのですが。

●生涯学習について
私はピアノが大好きで、趣味として行うことで心の大きな支えになっています。学習を提案すること大切かも知れませんが、生涯学習を通していかに心が豊かになるか、こういう心情をきちんと伝えることが、個々にあった生涯学習の発見につながっていくと思います。
余暇と学習の差がわからない。広義の生涯学習から余暇の充実の部分は分けて推進していくべきではないか。
人間はもっと原点を見つめなおして生きていく事が大切だと思う。学習はその上で成り立つと思う。

どのような年齢層をターゲットにするかによっても生涯学習の取り組みの方向性は大きく異なります。調布市として、何を見直していくのか、どのように進めたいのか、方向性を定めて進める必要があると感じます。
例えば、街路樹に名札をつけるだけでも学習は始まるのではないのでしょうか。(都立ですが、神代植物公園に行って、そこに生えている植物名がわからず、そのままになる事が多いので、名前だけでもわかれば興味から調べて広がるのにと、いつも思います。)
生涯学習を通じて地域社会への参加の糸口となりますか？
生涯学習というこの表現がピンとこない。説明されないと分かりにくい。
生涯学習という言葉を知っている年齢を考えると言葉のイメージが60代～70代の方の為のものという感じがします。市が求めているコンセプトが分らないです。
生涯学習なんていわれると、一生続けなくてはならないようで重く感じる。広く浅く、気軽にちょっとやってみようかな、と思う程ではダメでしょうか。
学習という言葉の範疇にとらわれることのないよう、知的・文化的、又は健康促進に関する様々な活動(地域活動)を目指す言葉に変更すること。
一部の方々(行政側・市民側共に)の”ひとりよがり”の活動にならぬよう、お願いします。
「生涯学習」は聞いてはいますが、それって何をするんですか。何をもち「生涯学習」というのか、もっと定義づけする必要があると思います。

●施設整備
老朽化した施設を、使いやすくリニューアルする。
北部地域には市の施設が少なく、使用しにくい。コミュニティバスもまだ通らないので中心部に出にくい。
図書館やスポーツ施設は充実している。生涯学習と気負わずに、気軽に利用できる施設を拡充してほしい。
調布市は近隣の市に比べ、野球場、サッカー場は多くみられるが、テニスコートが少なく、コートを取るのに大変です。ぜひ一考をお願いします。
多摩川にランナーやサイクリスト用のシャワールーム(ロッカールームやスペース付)を作してほしいです。
市民の発表の場としても使われるグリーンホールが貧しい雰囲気なのが残念。府中の森芸術劇場のような文化的な施設であってほしい。スポーツ施設も不足。西町公園のような誰でも気軽に立ち寄れる公園がもっとたくさんあってほしい。
高齢の方でもその年からでも学習が出来る様な施設とその施設への子供達の介入(支援、介護、介助など)を目的とした施設を希望。
交通の便がよくない上、施設が偏っているので利用しづらい。駐車場が少ない。学習したい人は多いと思うので、利用機会を増やせるよう、施設を整備してほしい。

●アンケート
本アンケート調査の期日がまだ過ぎていないのに、お礼の郵便が届くのは税金のムダかな・・・と思ってしまいました。礼状は送る必要無いのでは？
このようなアンケートへの記入は初めてです！期待しています。頑張ってください。
このようなアンケート等で企画を募集したりして、ありきたりで閉塞感のあるものから脱してほしいと思います。府中に負けないで！！
このアンケートでもっと「生涯学習」について教えて頂かないと良く意味が分らないままです。
このアンケートで初めて市が学習に力を入れたいということが分かりました。市在住 1983年～。
以前は市主催の学習活動が沢山あったが、予算削減と共に手を引いてしまい、折角芽生えた活動が中途半端となり、果ては消滅してしまったものが殆どである。途中で手を引くようなら初めから行わなければ良い。名目だけ取ろうというのである施策は不要。このようなアンケートもその類いならば行う必要はない。

●学習の循環・還元
生涯学習の中心者(市・人・団体)の情報の伝え方、熱意の伝え方、一学習してその結果を地域の人に還元して欲しい事を熱望している事を伝えることが必要。要は、学習した人を必要としている事。

市民自身が教える側にもなれることが大切だと思います。
自分の資格や経験を活かしたいが、どのようにすればよいのかわからない。受付窓口など入口がはっきりするとやりやすい。
自分が持っている資格がなかなかいかす事が出来ない(子育ての為時間や職場がない)。
生涯学習の関連施設や学習内容は形骸化して、単に施設がある、講座をやっているだけと思われる。次の学習を応用して、地域に貢献する流れがない。
仕事と家事で日々を過ごし、生涯学習とは縁がありません。インターネットで繋がるのとは違う、直接顔を合わせての交流・学習の機会は大切だと思います。しかし、生涯学習で得るのは専門的な知識ではないので、何らかの形で学校教育の場に入るような折には、慎重を期して頂きたいと思います。
学校教育現場にシルバー人材を登用し、またその道(福祉現場に学生を)をお互いに支え合える社会になってほしい。
学習の成果が何らかの形で社会の役に立つものであることが望ましい。
学習したこと、身につけたものを生かして次につなげる(仕事や指導、資格取得など)の流れがあると、学ぶ意欲も上がると思います。
何か福祉に役立てたいが、方法がわからない。

●連携
他地域との連携。世田谷、狛江、府中、三鷹など。
市内のホームセンターや園芸店で、植物の寄せ植えや手入れの仕方などを教えてくれる教室があればと思います。
市内にもいくつかの大学があるので、専門分野の学習を身近なものに関連付けて、興味深く講義してほしい。
市内には、様々な能力のある方が多くいらっしゃるの、人材を発掘し指導する機会をいただき、学びたい人に学習するチャンスを充実して下さい。
自治会とのつながりが無いように思える。
市所在大学、研究所との連携により学習講座を提供、郷土を知る歴史、文化講座の提供。
近隣の市との、スポーツ交流会。
ある地方自治体が民間のスポーツクラブとタイアップし、講座を開催した所利用者が増えたと報道されていました。調布市でも是非検討していただきたいです。
(雑学大学)友人にすすめられ生涯学習に週1度通学に、経験があるが手術入院の為続かず断念しました。今から15年程前のこと、都市部では既に活動はかなり進んでおり、調布市でも雑学大学のような学習を近隣都市と提携してスポットの学習じゃなく受講者が満足できる学習をすべき。

●学習・発表の場
昔から住んでいるお年寄りや子供が産まれたばかりの世帯など幅広いのでそういった人達が集う場所が欲しいです。特に小さな子供が遊べる施設(自然と触れ合えとなおよい)をもっと増やして欲しいです(例えば府中市のように、郷土の森の水遊びの池など見習って欲しい)。
まずは隣人を知る機会、会話の機会の少なさにどうする事も出来ません。気軽にいつでもどこでも離れでも話合いの出来る場所が沢山あってはと思います。
生涯学習の場所が中心市街に集中する事なく各地域に分散して欲しいです。
生涯学習成果の発表の場がもっと増えるとよいかと思います。メディア(TVやラジオ、新聞など)、地域ごとの文化祭など、多くの人々が目にし、知る機会が増えると、生涯学習への取り組み意欲も増し、やりがいも生まれるのではないかと思います。
高齢になっても市民として活動出来る場があればいいと思う。
活動場所を広めて欲しい。今居る生涯学習のクラブの道具が悪すぎてどうにもならないです。何人が怪我してる。どうにかありませんか？
学習の場が駅、バス停より遠いと継続がしにくい。
学習してみたいものの場所が少し遠いので、出精の私にはなかなか出て行ってみようとする気持ちがまだまだ湧いてこないの、もう少し静かにしています。

●ボランティア・人材活用
ボランティア活動をする中で、ボランティアを管理する人、ボランティアを養成する人を養成し、ボランティアが自活できる仕組みがあればよいと思いました。
老人向けのボランティアをいつかしたいと思っています。書道を教えたり、リフレクソロジーを施術してさしあげることができます。何かボランティアをしたいけれど、自分一人ではできないし、と思っている方は多いのではないのでしょうか。
地域活動やボランティアに参加したくてもすでに仲間の結束が強い所へ入っていくのは勇気がいる。市のボランティア講座は時間が合わない。興味があってもきっかけ、勇気がないというのが本音です。
お年寄りの方々から、手遊びや昔話などをしてもらう機会を、小さな子供に与えてほしい。
以外と年齢制限される場合があります。例えばボランティア等がそうです。ボランティア精神を持っていても制限されると・・・困ります。
味スタで地震の時、ボランティア希望でしたが、情報がなく何も出来なかった。

●指導者・専門家
調布は文化・スポーツ面に予算を掛けるつもりはないのですか。素人の無い知恵よりも、それぞれの分野のプロなりコーディネーターの知恵を借りて、質の高いものを考えるべきだと思います。全てがというわけではありませんが。楽しむ事も大事ですから。
施設の管理者ではなく、施設が提供するサービスの公的先導者が少ない。またはジャンルによってはいないのが調布の特徴。
指導者を育てる事と、興味を持ちたくなるような集いを考える。
各地域で、ラジオ体操や太極拳、ウォーキングなどのスポーツインストラクター付きのプログラムを実施してほしい。
「年寄りの趣味」といった感じが強いかと思います。もっと学生・社会人へのアピールをし、講師にも、そのジャンルの第一線の方達が参加していただけるといいなと思います。

●調布らしさ
昔ながらの文化を守る活動。(手作り等々)
調布の歴史、地理に関する学習の機会を望みます。
映画・TVドラマ等への市民の参加。最、映画の街”調布”のアピールを。
「映画のマチ」ふさわしく、図書館において活字資料だけでなく、映画(特に調布ゆかりの日本映画)の映像資料を戦前から系統的に収集して、市民に公開してほしい。
せっかく東京なのにこんなに緑が、自然がたくさんあるから今の緑を守れるような活動はどうでしょうか。自分で動くまでに至らないが自然に情報が入れば動く人はいると思うので(私とか)、テレビやラジオ、市内のアナウンスを使って頂けたり、やはりチラシや「ちょうふ」だとそのままりサイクル古紙になりかねないような気がします。野川の生き物を守ろうとか、いつかカエルの鳴き声も聞けなくなるのかな。

●その他
高齢化が進む中で周囲とのかかわりも重要ではありますが、自分自身が、残る日々を少しでも軽快に暮らすために、自分の能力に合った事をやり続けられるような環境を望みます。
広い目で見る事で気付きのなかったことにも目がいき、新しい物、忘れていた何かに気付くことができるのでは？
定年後というイメージが強い。今は費やす時間が無い。
地域の自治体組織が新しい住人には理解できないし、参加したくない。
世界が揺れ動く中、人間の欲している根っこの部分は変わらないような気がします。日本人らしさは持ち続けて欲しいと願います。
生涯学習をする上での私の悩み、体調で決まるのでお休みするとその続きが続いていかれるかが私の悩みの1つです。
生涯学習というよりも70歳代が集まり、女性色々行っています。自分達の好きな事をデカバン広場で。集団で学び、集団で経験を考案・分析し、次への集団における学びにつなげていけるスキルを明らかにして下さい。

このままでよいと思います。

かかわりたくない人と一緒になったらどうしようという不安がある。

60～70代の方を見ていると(生涯学習への意欲のある方に限っていると)やり続ける為には金銭的には学習のみにはそう負担はないが、アフタースクールや人付き合いの面で大変な部分を感じるという声を良く聞きます。